

西日本豪雨災害による被災資料の整理作業報告書

—倉敷 井上家文書—

岡山大学文明動態学研究所

2024 年 3 月 25 日

例 言

1. 本調査報告は、西日本豪雨災害で被災した倉敷井上家文書についての整理作業の実施報告書である。作業の内容、経過を報告するとともに、資料目録を附載した。
2. 本報告書の作成は、岡山大学文明動態学研究所非常勤研究員山下香織が行った。
3. 科学研究費・特別推進研究（R1 ～ R5）「地域歴史資料学を基軸とした災害列島における地域歴史文化の創成」（代表 神戸大学教授奥村弘）による研究成果として公表するものである。
4. 整理作業にあたっては多くのボランティアの皆様の協力をえた。記して心から御礼申し上げる。



口絵 1 岡山史料ネットの井上家文書救出メンバー



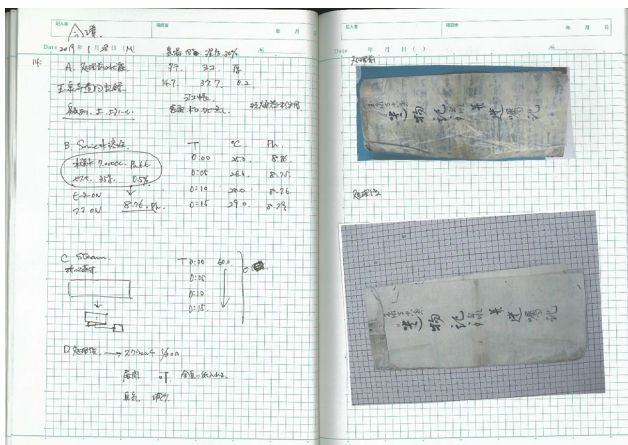
口絵 2 真備歴史民俗資料館の被災状況



口絵 3 井上家文書の被災状況



口絵 4 岡山県立記録資料館の冷凍庫と冷凍前の資料



口絵 5 処置記録



口絵 6 スクウェルチ・ドライイング法での処置



口絵7 大正14年（1925）伯備線開通時の井上家
（倉敷市歴史資料整備室蔵 井澤家文書）



口絵8（左）※反転画像
版木「備中倉敷東本町精華亭」



口絵9 ラベル「星魁サイダー」

1. 救出の概要

2018年7月6日に発生した西日本豪雨災害では、多くの人命が失われ、貴重な文化財や多くの建物が被災した。7月21日に真備町の被災状況を巡回していた岡山史料ネットが被災資料を確認し、倉敷市教育委員会に連絡した後、同日中に文書を救出した【口絵1】。

倉敷市本町にある井上家住宅（国指定重要文化財）は2014年～2022年にかけて解体保存修理が行われた。今回救出した文書は、修理にあたり井上家住宅から倉敷市真備歴史民俗資料館（倉敷市真備町箭田）に移動していた木箱類の中にあったもので、4m近い高さの浸水被害を受けた同施設内にあった資料は、傷みが激しく原形をとどめていないものもあった【口絵2・3】。ぬめりで癒着した被災資料をポリ袋に入れて、同日岡山県立記録資料館に搬入し、同館の冷凍庫で冷凍保管した【口絵4】。また版本12点は岡山県古代吉備文化財センターで冷蔵保管した。

整理クリーニング作業は2018年7月末～2023年8月にかけて行った。まず冷凍した資料を室温で自然解凍し、資料の状況を確認しながら1点ずつ番号を付した。劣化が進んでいたため復元は困難を極めたが、元の状態をできるだけ再現できるように枝番を付すなどした。資料は明らかにカビによる汚損やぬめり、独特の臭気があった。他地域の処置の事例を参考に、詳細に処置記録を取りながら、試行錯誤をくりかえした【口絵5】。

資料の多くは蒸し器による低温殺菌を行なった【写真1】。水損資料を蒸すことは古くから行われており、幕府の書物奉行であった青木昆陽も著書『昆陽漫録』で「水漬書冊」の処置方法としてその有効性を紹介している。北宋の蔵書家王洙が行った蒸し方を享保期の江戸小石川の水損書籍で試したところ「洗ヒ干タルハ腐リ、洗蒸シテ乾タル干シタルハ紙縮ルト云ヘトモ腐レズ、コノ説信ナリ」と書いている。とはいえ傷んだ資料を蒸すことには不安もあった。温度管理に注意して試みたところ、結果として目立った脆弱化はみられず、臭気はかなり軽減された。

洗浄はセスキ炭酸ソーダを加えたアルカリ水を使用した。手作業によるフローティング法だけでなく超音波洗浄器による機械洗浄も試した。アルカリによる変色の可能性や機械洗浄による紙の繊維分解などの危険性も考慮し、資料の状態を慎重に見極めながら洗浄方法を選択した。結果として滲みによる裏写りも多少あったが、ほぼ良好な状態で洗浄できた。そのほか紫外線殺菌なども試みた。

乾燥はキッチンペーパーとダンボールに資料をはさみ業



【写真1】 資料を蒸す

務用扇風機にあてる風乾を適宜実施した。書状などの一紙物は比較的扱いやすかったが、冊子はセームタオルで吸水した後に密封袋を使ったスクウェルチ・ドライイング法などを用い徐々に展開した【口絵6】。

以上のクリーニングは岡山史料ネットのメンバー、岡山大学の学生や岡山県文化財救済ネットワークの関係機関、県外の関係機関、資料保存に関心のある一般の方、多くのボランティアの協力により進めることができた。また、救出や処置過程は新聞やテレビなどマスコミでも報道された。

資料のクリーニング後、主に岡山史料ネットの上村和史と岡山大学文明動態学研究所の山下香織が目録を作成した。これと同時に枝番を手掛かりに破損資料の復元も行った。

2. 救出した文書の概要

今回救出した井上家文書は、倉敷市歴史資料整備室所蔵の井上家文書5949点と一体のもので、元禄15年（1702）～昭和12年（1937）にわたる638点の資料である。なお、井上家文書の全体像については2024年3月に発刊予定の『倉敷の歴史』34号を参照されたい。

倉敷村井上家（宮崎屋）については永山卯三郎編『倉敷市史』に詳しいが、江戸時代初頭からの倉敷村の有力者である古禄と称された家の一つである。井上家はもとは阿波国の出身で高島氏を名乗っていたと伝えられる。裏表紙に「高島安兵衛」と記された元禄15年の「水夫帳」（J20）は、そのことを裏付ける数少ない資料の一つである【p30～31 資料写真】。なお安兵衛（宝暦3年没）は6代目当主にあたり、現在まで残る住宅を建てている【口絵7】。

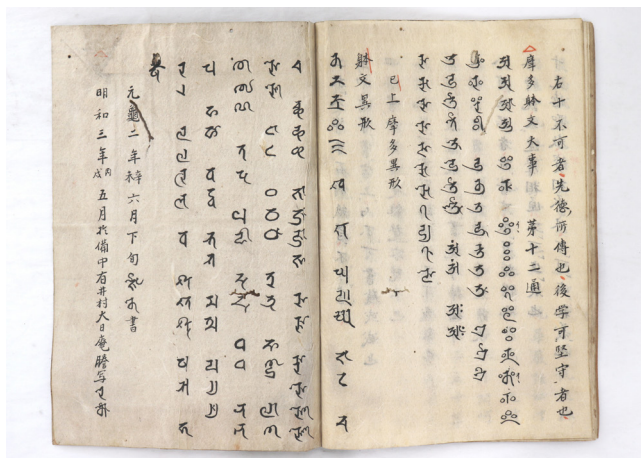
全体としては近代の私信類が大きな割合を占め、12代信蔵（明治40年没）や弟の亮三（明治25年没）、13代冬太郎（昭和6年没）らに対して親戚などから届いた書簡が数多い。

近世期の文書では、享保～寛保期の宮崎屋宛の年貢請取状が多くあった。同家が白楽市村や四十瀬村など倉敷村の周辺村にも土地を所有していたことがうかがえる。また9代の井上五蔵は寛政期に倉敷村の年寄をつとめていたことから、宗門送り手形など町政に関する資料も残っている。

井上家文書に特徴的な資料として、井上安兵衛が出家した父の寺として建立した玉泉寺に関する一連の資料がある。同寺は真言宗御室派に属し、明治7年（1874）に廃寺となった。御室への献金に関する書状や什物目録（Z58）・書物目録（Z62）などがある。

また玉泉寺は連島の宝島寺にゆかりの寺で、宝島寺30代住職の寂厳（元禄15年～明和8年）は、明和4年（1767）～同8年に玉泉寺の住職を務めた。寂厳は能書家であり、悉曇学者としても有名で『悉曇十二通切紙大事』（Z84）なども、寂厳に関連する資料の可能性がある【写真2】。

紙資料以外では、版木12点がある。多種多様な商いに関するもので、倉敷村の商店名が記されたものは「名葉並葉刻たはこ品々倉敷本町清泉堂油屋徳助」（16.4×14.1cm）と「書画文房具朱肉印材篆刻平安風流煎茶器備中倉敷東本町精華亭」（15.3×8.2cm）【口絵8】の2点ある。他にも、明治22年（1889）に創業した倉敷煙草製造会社の包装紙や、星魁サイダーのラベル【口絵9】などが目をひく。星魁サイダーは大正15年（1926）発行の『倉敷町沿革史』によれば、栄町の原田源次郎が製造していたもので、クリーニングにより当時のような鮮やかな色彩がよみがえった。



【写真2】「悉曇十二通切紙大事」

3. 史料紹介

数多く残されていた近代書簡の一つとして、井上亮三にあてて親戚の高戸収（天保4年～明治35年）が近況を述べた書簡（K6-1-1）【写真3】を紹介する。

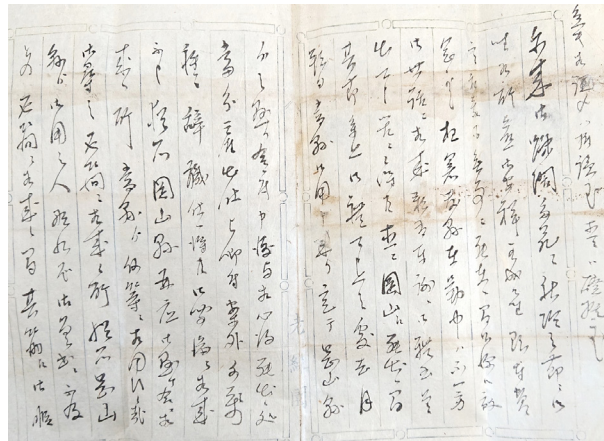
書簡の年代は明治5年（1872）9月と推測され、廃藩置県後の地方政治の混乱ぶりを示すものである。高戸収（源二郎）は備中国鴨方藩領の鴨方村の名主の家に生まれ、井原の阪谷朗廬に学び、明治4年8月から倉敷県に出仕したが、同年11月に倉敷県は廃されてしまう。

この頃の鴨方は混乱を極めている。明治4年7月に設置された鴨方県は、11月には深津県（備中全域の諸県と備後の福山県を統合）となり、12月には旧鴨方県は岡山県に編入されることとなり、翌5年6月には深津県から改称した小田県に属することになった。そうした状況で高戸は書簡に次のように記している。

…去月朔日当県御用申来、定テ岡山県ヨリ之懸り合ニ付申渡と相心得罷出候処、当分雇出仕被仰付、案外千万種々辞職仕候得共、御聞濟ニ相成不申、猶亦岡山県再応御懸ケ合ニ相成候所…

ここでの「当県」とは小田県のことである。高戸は倉敷県廃止後に再出仕するにあたり、鴨方出身であったからか、小田県と岡山県の双方から声がかかっている。本人は岡山県への出仕を望んでいたが、小田県からは雇ではなく、史生の職階にするという再度の申し出があり、結局高戸は小田県吏となり笠岡へ移り住んだようである。「当地ニテハ別品（別嬪）ハなし、唯倉敷旧友と遊び候位之事ニ御座候、宮内ハ遠く相成、面白事なし」といった感想をつづっている。

高戸は倉敷県へ出仕する前の明治3年には、明治政府



【写真3】井上亮三宛高戸収書簡

が設置した目安箱に「御国債ヲ償之儀」という財政についての建言を入れており、ひとかどの意見と行動力をもった人物であったのだろう。明治8年（1875）12月に小田県が岡山県に合併された後は岡山県吏となり、勸業課長や土木課長等をへて小田郡長もつとめている。

高戸はこの手紙の中で、これまでの倉敷県での待遇や、思い通りにはならない今後の身の振り方について、心の内を吐露しており、余白には「すぐに焼き捨ててほしい」とある。社会の激変にいかに対処すべきか模索した地方の一名望家が抱えもった複雑な思いを伝えてくれる資料である。

終わりに

前述の『悉曇十二通切紙大事』の末尾には「明和三年丙戌五月於備中有井村大日庵謄写」と記されており、明和3年（1766）に下道郡有井村（倉敷市真備町有井）の大日庵で書写されたものであることがわかる。偶然にも、大日庵とこの資料が被災した真備歴史民俗資料館とは、わずか数百mしか離れていない。大日庵には明治13年（1880）水害の犠牲者を供養した「溺死群霊之墓」があり、平成30年西日本豪雨災害にも見舞われたが、令和5年（2023）に再建された。水害からの再生への祈りが込められた場所である大日庵にゆかりがあるこの冊子が、被災しながらも再生できたことは奇縁というべきかもしれない。

今回救出した井上家文書は、倉敷市歴史資料整備室で所蔵されている文書と合わせて、倉敷地域の歴史を明らかにしてゆくための資料として活用されることが望まれる。さらに西日本豪雨災害の記憶を刻んだ資料として、それを将来へ伝える証となることを期待したい。と同時に、これらの貴重な資料の継続的な管理のあり方を考えなければならない。

井上家文書目録

凡 例

- 原則として目録上の表記には常用漢字を用い、異体字・変体仮名・旧字体などは適宜改めた。
- 標題については、原標題がある場合にはそのまま記し、原標題がない場合には、〔 〕を付して適切な標題を記した。
- 番号 J51 ～ 52、R4-17, Z16, Z51 は欠番とした。
- 史料の欠損等により判読が不能な文字については□とし、文字数が判明しない場合は〔 〕と表記した。
- 本資料は 2024 年 2 月に倉敷市総務課歴史資料整備室の所蔵となった。

番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	2	3	4	5										
1				(玉泉寺書類袋)	未詳						反古利用	袋	1	枚
2				覚		丑	3月8日	年預代	玉泉寺	嵯峨野御料勘納金の受取		小切紙	1	通
3				証	弘化2年		12月	御室御所執達別当村上角蔵助(印)	観龍寺檀頭 宮崎屋三郎右衛門	卯登山関東下向につき献金領収		堅切紙	1	通
3	1			氏神石燈修復金受取通		辛未	3月	西組世話方	井上善三			横折紙	1	通
3	2			氏神石燈修復金受取通		辛未	3月	西組世話方	井上善三			横折紙	1	通
3	3			氏神石燈修復金受取通		辛未	3月	中東世話方	藤原竹太郎			横折紙	1	通
3	4			(世話方書上)	未詳		未詳	不明	不明	大東、唐戸ほか		横折紙	1	通
3	5			(世話方書上)	未詳			不明	不明	西東、中東ほか		横折紙	1	通
3	6			{書付}	未詳		未詳	不明	不明	4月晦日分の受取	「受取通」などの他の文書の墨付がうつっている	横折紙	1	通
3	7			氏神石段修復金受取通		辛未	3月	御東 世話方	平井国龍	2件のみ	後欠か	横折紙	1	枚
3	8			{書状断簡}	未詳		未詳	不明	不明	近頃突然の依頼の件	前後欠	横継紙	1	通
3	9			御願	未詳	未詳	未詳	第十五大区窪屋郡小七区倉敷村 隆	小田県権令矢野光儀	自分用の引戸駕籠1班の免許願		横切紙	1	通
3	10			{書付}	未詳			不明	不明				1	通
3	11			氏神石灯修復受取通	辛未		3月	西東世話方	西沢六蔵	3月～6月分		横折紙	1	通
4	1			{袋}	安政5年		9月	不明	不明	「御室御所御入室御得度被為成候御數井二御助勢金差出書類」		袋	1	枚
4	2			{戒名書上}	未詳		未詳	不明	不明	10名分	糊が外れて2枚になっている	横切紙	1	通
4	3			{山川金右衛門由緒書}	未詳		未詳	不明	不明	稲田九郎兵衛家来の山川金右衛門分		断簡	1	通
4	4			記	未詳		未詳	不明	不明	ヒシキ竹、人夫代など書上	エンピツ書、後欠	横継紙	1	通
4	5	1		{玉泉寺法印宛松田確斎書状}	未詳		4月11日	松田確斎	玉泉寺	仁国大和尚の法会につき		横折紙	1	通
4	5	2		{玉泉寺法印宛松田吉左衛門書状}	未詳		4月11日	松田吉右衛門	玉泉寺	宝輪導師の六旬年忌につき		横折紙	1	通
4	6			覚	未詳		3月10日	法輪寺	玉泉寺	御室御所融書の受取につき		小切紙	1	通
4	7			{包紙}	未詳		未詳	宝殿	井上三郎右衛門			包紙	1	枚
4	7	1		{井上三郎右衛門宛宝殿書状包紙}	未詳		未詳	宝殿	井上三郎右衛門	矢上山悦心庵にて		包紙	1	枚
4	7	2		{井上三郎右衛門宛宝殿書状}	未詳		正月8日	宝殿	井上三郎右衛門	年始の祝詞のお礼		横折紙	1	通
4	7	3		{井上三郎右衛門宛宝殿書状}	未詳		正月8日	宝殿	井上三郎右衛門	尾崎氏の生まれ年について	糊が外れて2枚になっている	横切紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
	4	8	1		(献金・助成金の書付)	未詳		未詳			玉泉寺分	井上三郎右衛門宛失 上山悦心庵の宝蔵の 包紙1枚、玉泉寺松田 吉右衛門宛讃岐詫間 村の包紙1枚あり	小切紙	1	通
4	8	2			(井上三郎右衛門宛宝蔵書状)	未詳		正月14日	悦心庵宝蔵	井上三郎右衛門	年始御祝詞の件		横折紙	1	通
4	8	3			(井上三郎右衛門宛宝蔵書状)	未詳		正月14日	悦心庵宝蔵	井上三郎右衛門	花小供の御記念につき		横折紙	1	通
4	9	1			寛 安政4年			12月	矢守左衛門権大尉ほか	観龍寺ほか	御入室御得度につき献 上品のこと、ほか	糊が外れて2枚になっ ている	縦継紙	1	通
4	9	2			(無住寺院の取計らいにつき達)	未詳	巳	12月	矢守左衛門権大尉ほか	観龍寺ほか	六十六部開国修行の支 配につき	糊が外れて2枚になっ ている、後欠	縦継紙	1	通
4	9	3			(六十六部開国修行につき直末寺院へ達)		巳	12月	矢守備後守・橋本民部 卿・芝築地総在庁	御直末寺院		糊が外れて3枚になっ ている	縦継紙	1	通
4	9	4			寛		巳	12月	軌達所		軌達の伝達について、 下書		縦紙	1	通
4	10	1			癸亥諸弘帳井二人足貫渡留		癸亥		玉泉寺			表紙のみ	横半帳	1	枚
4	10	2			癸亥 盆前弘帳 玉泉寺	癸亥					熨斗屋8分代ほか		横半帳	1	冊
4	10	3			[玉泉寺宛通帳]		亥		都屋吉三郎ほか	玉泉寺	醤油代ほか	15通分	小切紙	1	冊
4	10	4			寛		亥	7月	はし本や源左衛門	玉泉寺	高野豆腐、ごま代など 書上	糊が外れて2枚になっ ている	横継紙	1	通
4	10	5			寛	亥		7月	源左衛門	玉泉寺	丸筆代ほか	4・10・4～5は1つの文 書	横継紙	1	通
4	10	6			(井上栄夫宛至誠堂書店葉書)	未詳		6月19日	至誠堂書店	井上栄夫			葉書	1	通
4	11				(中島村庄屋与八郎書状)	未詳		未詳	中島村与八郎 (花押)		当村新兵衛と妻子の引 越につき		横継紙	1	通
4	12				([] 八郎書状包紙)	未詳		未詳	[] 八郎		包紙のみ	破損大	包紙	1	枚
4	13				(五蔵宛中島村庄屋与八郎書状包紙)	未詳		未詳	中島村与八郎	五蔵	包紙のみ		包紙	1	枚
4	14				(倉敷村年寄月番五蔵宛書状)	未詳		8月15日	中島村与八郎	五蔵	当村新兵衛と妻子の引 越につき		横継紙	1	通
4	15				寛	未詳		8月10日	中島村与八郎	五蔵	御状一通請取につき		小切紙	1	通
4	16				(倉敷村年寄月番五蔵宛書状断簡)	未詳		8月12日	中島村与八郎	五蔵	宛先部分のみ	前欠	断簡	1	枚
4	17				(宗門手形入包紙)	未詳		未詳	不明	不明	包紙のみ	破損大	包紙	1	枚
5	1				(法輪寺・玉泉寺宛成福院・天徳院書状包紙)	未詳		未詳					包紙のみ	1	通
5	2				(包紙)	未詳		未詳			「高野山」		包紙	1	枚
5	3				(書付)	未詳		未詳	不明		「素堂様詠章記行」	洋紙にボールペンで 書いている		1	枚
5	4				持迷御届	明治20年		5月1日	井上		冬太郎猪事の104円が持 ち逃げされた、人相の 書上あり	2枚になっている	横継紙	1	通

番号	番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	2	3	4	5											
5	5				(書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明	閏九月初日の伽藍宝蔵の失火、大猷院殿家光公御再造の件	前後欠	横継紙	1	通
5	6				(書状断簡)	未詳		12月朔日	伽藍再建掛天徳院湛然(花押)・成福院来応(花押)	法輪寺・玉泉寺	差出・宛先部分のみ	前後欠、糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
5	7				(書状)	未詳		未詳	不明	不明	御神霊様五十日祭につき、案文		横継紙	1	通
5	8				記	23年		2月16日	森口英三	井上	紛失物など代金書上、別に番号を付けた目録あり	3枚になっている	横継紙	2	通
5	9				記	未詳					尾崎宛、井上宛分		小切紙	4	通
5	10				{往復賃書上}	未詳		未詳	不明	不明	竜野往復代ほか	前後欠	断簡	1	枚
5	11				(田畑書上断簡)	未詳		未詳	不明	不明	倉敷村、帯江村ほか地価		断簡	3	枚
5	12				(精思高等小学校組合書記任命書)	明治17年		4月22日	窪屋郡会町外六ヶ村組合役場 (印)	井上冬次郎			罫紙	1	通
5	13				内職人招応	明治26年		2月1日	東洋美術絵画彩詢 実業社	尾崎生三		封筒あり	印刷	1	通
5	14				(井上冬太郎宛井上書状)	未詳		1月25日	井上	井上冬太郎	役場の立替金について	封筒あり、2枚になっている	横継紙	1	通
5	15				所持金高届	未詳		未詳	不明					1	通
5	16				(吉田健三分金銀書上)	未詳		未詳	不明	不明	天保12年分より		横折紙	2	通
5	17				{断簡一括}								断簡一括	1	点
6	1				(包紙)	未詳		未詳	玉泉寺	吉左衛門	(上書)「当事星真言」		包紙	1	点
6	2				当年星真言	未詳		未詳	不明	不明			横切紙	1	通
6	3				(包紙)	未詳		未詳	御室御所芝罘地治部卿・橋本民部	芝罘地治部卿・橋本民部			包紙	1	枚
6	4				(井上亮三宛井上信造書状)	未詳		7月	井上信造	井上亮三	公租協賛費の件など	2枚になっている	横継紙	1	通
6	5				(井上おけい・おくか宛金出地ちか書状)	未詳		旧11月5日	金出地ちか	井上おけい・おくか	仏事勤のことなど		横継紙	1	通
6	6				(堀直左衛門宛井上冬太郎書状)	未詳		10月18日	井上冬太郎	堀直左衛門	妹のことなど	破損大	横継紙	1	通
6	7				記	未詳		10月9日	不明	不明	宮造作分の支払書上	3枚になっている	後欠	1	通
6	8				(明治十七年・十八年分地方税書上)	明治17年		未詳	不明	不明	明治17年～18年分地方税等書上	後欠	横継紙	1	通
6	9				{振込用紙写}	未詳		未詳	不明	不明				1	通
6	10				(井上冬太郎宛小野耕平書状)	未詳		10月19日	小野耕平	井上冬太郎	祭付の祭典のことなど	封筒あり	横継紙	1	通
6	11				(堀健次郎宛井上信造・亮三書状)	未詳		1月18日	井上信造・井上亮三	堀健次郎	婚儀のお礼につき		横折紙	1	通
6	12				(井上信造山路音太郎書状)	未詳		未詳	井上信造	山路音太郎	婚儀のお礼につき		横折紙	1	通

番号	番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	6	13			(書状断簡一括)	未詳		未詳	不明	不明			断簡一括	1	点
7	1				(井上安兵衛宛宝寿山院主書状)	未詳		4月14日	宝寿山院主	井上安兵衛	20日御行で御影供引上、修行する件につき		横切紙	1	通
8	1				(書状断簡)	未詳		未詳	久富遠江守文運(花押)・芝築地治部卿(花押)	法輪寺御坊・玉泉寺御坊	「一輪致啓上候歳寒之刻愈・・・」	後欠、包紙あり	横継紙	1	通
8	2				(奉書)	未詳		6月12日	久富遠江守文運(花押)・芝築地治部卿(花押)	法輪寺御坊・玉泉寺御坊	年始御礼献上の札		折紙	1	通
8	3				証	天保15年		12月	御室御所執達当番 村上内蔵助(印)	玉泉寺御房	高野山関東御下向につき助勢献金の領収		堅切紙	1	通
8	4				証	弘化3年		6月	御室御所執達当番 矢守筑前介(印)	玉泉寺御房	高野山関東御下向につき助勢献金の領収		堅切紙	1	通
9	1				(包紙)	未詳		未詳	御室御所橋本総社庁・山崎左京少進	龍昌院御房・玉泉寺御房			包紙	1	枚
9	2				(法輪寺御坊・玉泉寺御坊宛小幡藏人ほか書状)	未詳		2月20日	小幡藏人(花押)・谷左馬大允(花押)・矢守左衛門権太尉(花押)	法輪寺御坊・玉泉寺御坊	改年の金100石献納につき	包紙あり	横折紙	1	通
A	1				(包紙)	未詳		未詳	芝築地総本庁矢守備後守	玉泉寺		包紙のみ		1	枚
A	2				(橋本民部宛矢守備後守書状)	未詳		8月晦日	芝築地総本庁矢守備後守(花押)	橋本民部	御入室得度につき慶賀		横折紙	1	通
A	3				(倉敷年寄月番五蔵宛西阿知村名主要右衛門書状)	未詳		8月8日	西阿知村名主 要右衛門	五蔵	惣助妹たけの倉敷式町惣十郎伴久米蔵妻に引請の宗門送りにつき	3枚に分かれている	横継紙	1	通
A	4				(五蔵宛西阿知村名主要右衛門書状)	未詳		8月13日	西阿知村名主 要右衛門	倉敷村五蔵	当村惣介妹たけ引請につき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
A	5				(包紙)	未詳			西阿知村名主 要右衛門	倉敷村五蔵	当村惣介妹たけ引請につき		包紙	1	点
A	6				宗門送手形之事	寛政7年		8月	水江村多聞寺	倉敷庄屋系太夫・年寄中	西阿知村惣助妹たけ		堅継紙	1	通
B	1				寛		午	10月朔日	仏具師 京都 田中伊賀	玉泉寺・御知事	前具の代銀につき		横切紙	1	通
B	2				(玉泉寺・御知事宛田中伊賀書状)			10月朔日	仏具師 田中伊賀	玉泉寺様・御知事様	前具代を万屋正兵衛から請取につき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
B	3				(包紙)	未詳			仏具師 京都 田中伊賀	玉泉寺		付紙あり	包紙	1	通
B	4				(井上御兄様宛片山龜五郎書状)	未詳		7月30日	片山龜五郎	井上御兄	冬漬けの香の物1、2挺を譲ってほしい	2枚に分かれている	横継紙	1	通
B	5				(井上様宛片山書状)	未詳		5月26日	片山	井上	参上延引のわび		横継紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
B	6				(小野丹右衛門・井上新右衛門書状)	未詳			不明	小野丹右衛門・井上新右衛門	先番御来臨のお礼、中略	棚が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
B	7				(片山濤左衛門書状)	未詳		4月15日	片山濤左衛門		膠一樽呈上につき	前欠	横継紙	1	通
C	1	1			送手形之事	寛政7年	卯	8月	彦屋郡中島村庄屋 与八郎	彦屋郡倉敷付庄屋 孫大夫妻・年寄	新兵衛と妻さなの引越しにつき		縦紙	1	通
C	1	2			差出申一札之事	寛政7年		8月	新兵衛ほか5名	年寄月番五蔵	中島村善十郎伴新兵衛一家引越につき		縦紙	1	通
C	1	3			宗門請状之事	寛政7年		8月	彦屋郡中島村 實際寺	彦屋郡倉敷付庄屋 孫太夫ほか	彦屋郡中島村へ引越につき		縦紙	1	通
D	1	1			(封筒)	未詳		10月25日	たき	宮崎屋			封筒	1	枚
D	1	2			(井上大人宛濤楠書状)	未詳		8月23日	濤楠	井上大人	備中府志につき		小切紙	1	通
D	1	3			(井上御父上宛くす書状)	未詳		未詳	くす	井上御父上	手本のようなのはななどの報告		横継紙	1	通
D	1	4			(書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明	盆花代などの支払いにつき		横継紙	1	通
D	1	5			(井上信蔵宛濤本八百口書状)	未詳		9月16日	濤本八百口	井上新蔵	備中府志返納につき		小切紙	1	通
D	1	6			(宮崎屋大人宛たきもと書状)	未詳		10月25日	たきもと	宮崎屋大人	先日お話の懸物の返却につき		横切紙	1	通
D	1	7			(井上宛書状)	未詳		8月9日		井上	直に求めてほしいとの知らせ	D-1-7~8は一括	横継紙	1	通
D	1	8			(井上宛岡本永治ほか書状)	未詳		9月16日	岡本永治	井上	山路氏より婚姻の件につき、ほか	3枚に分かれている	横継紙	1	通
D	2	1			(包紙)	未詳			岡山 橋本	井上御母上		棚づけ部分を開いている	封筒	1	通
D	2	2			(安井書状)	未詳		4月20日	安井	不明	提灯などの注文の品の件		横切紙	1	通
D	2	3			(書状断簡)	未詳		未詳	不明	井上			前欠	1	通
D	2	4			(井上首三郎宛三輪勝太郎書状)	庚辰		10月11日	三輪勝太郎	井上晋次郎	興譲館参館の件など		横継紙	1	通
D	2	5			(井上新兵衛宛堀尾乾欄書状)	未詳		6月17日	堀尾乾欄	井上新兵衛	厨子5本出来たことにつき	棚が外れて2枚になっている	後欠	1	通
D	2	6			(井上宛楠戸沢太郎書状)	未詳		1月14日	楠戸沢太郎	井上	腹痛につき配慮願		横継紙	1	通
D	2	7			(井上宛大口書状)	未詳		2月6日	大口	井上	吉田草三について		縦紙	1	通
D	2	8			(井上信蔵宛大森弥五郎書状)	未詳		8月8日	大森弥五郎	井上新蔵	井上嶽少々爰熱につき、ほか		横継紙	1	通
D	2	9			(井上宛横溝和三郎書状)	未詳		3月14日	横溝和三郎	井上	囲碁道具の借用につき	棚が外れて3枚になっている	横継紙	1	通
D	2	10			(井上良造宛平田茂太郎書状)	未詳		6月12日	平田茂太郎	井上良造	手紙を小野おさんへ渡してくれるよう願		横継紙	1	通
D	2	11			(井上雅宛奥村昭書状)	未詳		4月10日	奥村昭	井上雅	尾崎氏より話を聞いてほしい		小切紙	1	通

番号	番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	2	3	4	5											
D	3	1			(井上信造宛小野書状封筒)	未詳		未詳	本町小野	井上信造	糊が外れて開いている		封筒	1	枚
D	3	2			(井上冬太郎宛書状断簡)	未詳		未詳		井上冬太郎	宛先部分のみ		断簡	1	通
D	3	3			(書状)	未詳		4月6日	不明	不明	郡役所へ出勤について		小切紙	1	通
D	3	4			(井上信藏宛小野鹿書状)	未詳		4月8日	小野鹿	井上信藏	諸事があることの知らせ	破損部分あり	小切紙	1	通
D	3	5			(井上冬太郎宛小野鹿書状)	未詳		1月19日	小野鹿	井上冬太郎	入院中のお土産につき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
D	4				(包紙)		卯	8月			新田太平治伴五郎三郎妻に弥三郎娘はつ妻に違わず件		包紙	1	枚
D	5				(倉敷年寄月番五蔵宛児島郡呼松村名主五一兵衛ほか書状)			8月10日	児島郡呼松村五一兵衛	倉敷年寄月番五蔵	呼松村弥三右衛門娘はつをと倉敷村新田三平次の妻に引請につき		横切紙	1	通
D	6				宗門送り手形之事	寛政7年		8月	呼松村 安楽院	倉敷庄屋系太夫・年寄中	呼松村弥三右衛門娘はつを新田太平二妻に違わず件		縦紙	1	通
E	0				(井上冬太郎宛加須山尾崎生三書状)			24日	加須山尾崎生三	井上冬太郎	家賃ほか取立代金につき	宛先部分がやぶれ、E0～20綴じ紐一括	縦紙	1	通
E	1				差出申上一礼之事	寛政7年		8月	願人浜屋定右衛門ほか	年寄月番 五蔵	願人浜屋定右衛門仲文吉養子婿につき	包紙あり	縦継紙	1	通
E	2				(井上御兄上様宛尾崎生三書状)	未詳		旧3月28日	尾崎生三	井上御兄上様	御手料理へぎにて持帰りの件		一紙	1	通
E	3				(井上冬太郎宛尾崎生三書状)	未詳			尾崎生三	井上冬太郎	同愛倉の残務引き渡しにつき	E-3-1～2はつながる	一紙	1	通
E	4				(井上信十郎・亮三宛尾崎生三書状)	未詳		12月13日	尾崎生三	井上信十郎・亮三	福四郎満州にて病没、葬儀につき	前欠	一紙	1	通
E	5				(井上御伯父宛尾崎生三書状)	未詳		1月28日	尾崎生三	井上御伯父	御申越の金子5円差上につき		一紙	1	通
E	6	1			(井上御伯父宛尾崎生三書状)	未詳		9月21日	尾崎生三	井上伯父	山根の尾崎良斎の母死去につき		小切紙	1	通
E	6	2			(倉敷井上宛加須山井上書状)	未詳		7月12日	賀須山 井上	倉敷 井上	御宅所有の振替願い		一紙	1	通
E	7				(井上様宛尾崎生三書状)			7月8日	尾崎生三	井上様	浴衣、ハンケチ等の小包引き渡しにつき		一紙	1	通
E	8				(井上様宛尾崎生三書状)	26年		7月26日	尾崎生三	井上様	旧六月分費延引につき		一紙	1	通
E	9				(井上宛義右衛門書状断簡)		辰	12月28日	義右衛門	井上尊兄	差出人・宛先の部分のみ	前後欠	断簡	1	通
E	10				(井上御父上・御母上宛尾崎生三書状)	明治22年		7月30日	尾崎生三	井上御父・御母	離縁の話し合いについて		横継紙	1	通
E	11				(井上信造・亮三宛尾崎生三書状)	未詳		未詳	尾崎生三	井上信造・亮三	梅四郎死去につき	2枚に分かれている	横継紙	1	通
E	12				記	未詳		3日	西尾崎	井上様	細紋付ほかの納品		一紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
E	13				(井上御兄上様宛尾崎生三書状)	未詳		未詳	尾崎生三	井上御兄上様	魚進生につき	糊が外れかけていた	横継紙	1	通
E	14				(井上御伯父宛尾崎生三書状)	未詳		3月14日	尾崎生三	井上冬太郎	伯母様の帰宅につき		横切紙	1	通
E	15	1			(井上御兄上様宛尾崎生三書状)	未詳		4月3日	尾崎生三	井上御兄上様	来客多いため、失礼している詫び	糊が外れかけていた	横継紙	1	通
E	15	2			(書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明	香台は早島へ返却につき	前後欠	一紙	1	通
E	15	3			(井上御兄上宛尾崎生三書状)	未詳		4月2日	尾崎生三	井上御兄	桑煙草薄盆などの品返却につき	前欠	横継紙	1	通
E	15	4			(書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明	道具の借用につき	後欠、E-15-2と関連	一紙	1	通
E	16	1			(書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明	所持金書上につき	後欠	横継紙	1	通
E	16	2			(井上御伯父宛尾崎生三書状)	未詳		4月4日	尾崎生三	井上御伯父	広井氏へ運び方依頼につき	前欠	一紙	1	通
E	17	1			(書状断簡)	未詳			不明	不明	「謹啓時下酷暑之候二御座候処、益々御期限能被遊御座候哉・・・」	前後欠	横継紙	1	通
E	17	2			(尾崎生三書状)	未詳		7月22日	尾崎生三	不明	胃痛の見舞い	前欠	横継紙	1	通
E	17	3			(井上冬太郎宛書状書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明		宛先部分のみ	一紙	1	枚
E	18	1			(書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明	冬太郎来訪の礼ほか	後欠	横継紙	1	通
E	18	2			(井上御伯父宛尾崎生三書状)	未詳		12月7日	尾崎生三	井上伯父	大阪砲兵第4聯隊補充中隊入営につき	前欠	横継紙	1	通
E	18	3			(井上冬太郎宛井上書状)	未詳		11日	井上	井上冬太郎	税証明につき		横継紙	1	通
E	19				(井上冬太郎様宛尾崎生三書状)	未詳		3月13日	尾崎生三	井上冬太郎	摂州伊丹西宮宮地方へ行軍中につき	前欠、E-19-1～2を糊で継ぐ	横継紙	1	通
E	20				(井上冬太郎様宛尾崎生三書状)	明治37年		8月24日	尾崎生三	井上冬太郎	帳簿記入の件		罫紙	1	通
F	1				宗門送手形之事	寛政7年		8月	児島郡浦田村蓮花院無住代判粒江村西明院(印)	窪屋郡倉敷庄屋孫太夫・年寄	児島郡福田新田坂次郎娘さきを妻に遣わす件	糊が外れて2枚になっている	堅紙	1	通
F	2	1			(包紙)	未詳		未詳	尾原村名主平十郎	倉敷月番五藏			包紙	1	枚
F	2	2			(倉敷年寄五藏宛尾原村名主平十郎書状)	未詳		8月8日	尾原村名主平十郎	倉敷月番五藏	当村勘兵衛の宗門送り状につき		横切紙	1	通
F	3				宗門請状之事	寛政7年		8月	児島郡尾原村 慈眼院	倉敷村庄屋孫太夫・年寄	奥書：尾原村名主平十郎、五人組頭林之助		堅紙	2	枚
F	4				差出申一札之事	寛政7年		8月	願人ほか5名	年寄月番五藏	当村勘兵衛の宗門送り状につき		堅紙	1	通
F	5				送り手形之事	寛政7年		8月	児島郡尾原村名主平十郎ほか	倉敷庄屋孫太夫・年寄中	尾原村勘兵衛を利介妻に引請につき	2枚に分かれている	横継紙	1	通
G	1	1			差出申一札之事	寛政7年		8月	願人西原村十吉(印)ほか5名	年寄月番五藏	浅口郡長尾村へ引越につき		堅紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
G	1	2			(和歌)	未詳			不明	不明	こふすゐの道の替らぬ あちの里 間にもまさ るや春の御祝年		小切紙	1枚	
G	1	3			(包紙)	未詳	卯	8月			榎田新田分、唐戸八右 衛門伴妻引請につき		包紙	1枚	
H	1				(五蔵宛九左衛門書状)	寛政7年		8月11日	浜村年寄九左衛門	倉敷村年寄五蔵	当代官所浜村里七跡か めの駕籠子につき	糊が外れて2枚になっ ている	横紙	1通	
H	2				差出申一札之事	寛政7年		8月	願人相生町幸介(印)ほ か5名	年寄月番五蔵	当代官所浜村里七跡か めの駕籠子につき	包紙あり	縦紙	1通	
H	3				(包紙)		卯	8月			尾原村勘兵衛の利介に つき	(裏書)「宗門送り 手形式通」	包紙	1枚	
J	1				くくり紐	未詳								1点	
J	2				覚	辰年					安兵衛分の本田畑書 上、辰年名寄帳分		横折紙	1通	
J	3	1			くくり紐	未詳								1点	
J	3	2			西阿知村申ノ御年貢米請取	元文5年			名主 又兵衛	幾右衛門・安兵衛・与一 右衛門		後欠	横切紙	1通	
J	3	3			西阿知村申ノ御年貢米請取	元文5年			名主 六右衛門	宮崎屋 安兵衛			横切紙	1通	
J	3	4			西阿知村申ノ御年貢米請取	元文5年			名主 又兵衛	幾右衛門・安兵衛・与一 右衛門		J-3-4-1~3を糊で継 ぐ	横切紙	1通	
J	4	1			請取申麦成銀		亥	6月	四十瀬村名主 十郎右衛 門	倉敷 安兵衛	麦1斗4升7合分の銀札請 取		小切紙	1通	
J	4	2			御口見掛		酉	12月28日	笹沖村組頭 甚四郎	倉敷 安兵衛			小切紙	1通	
J	5				元文元年辰御年貢通	元文元年			庄屋伝兵衛	倉敷 安兵衛			横折紙	1通	
J	6				寛保六年渋谷江村御年貢通	寛保6年			渋谷江村名主 治	安兵衛		後欠	横切紙	1通	
J	7				寛保元年酉御年貢鳥羽村通	寛保元年				宮崎屋 安兵衛		2枚に分かれている	横切紙	1通	
J	8				水夫割	寛保3年							横折紙	1通	
J	9				寛保元年四十瀬村御年貢米請取通	寛保元年		10月	四十瀬村名主 善兵衛	倉敷 安兵衛	安兵衛細分	2枚に分かれている	小切紙	1通	
J	10				寛保元年酉御年貢通	寛保元年			鳥羽村庄屋 伝兵衛	安兵衛		「寛」(銀48匁未進 元利分書上)	横折紙	1通	
J	11				白葉市村御年貢米受取通	寛保元年		9月	名主善左衛門	倉敷村 安兵衛			横切紙	1通	
J	12				享保十九年寛鳥羽村御年貢米通	享保19年		10月14日 ~12月29 日	鳥羽村庄屋伝兵衛	安兵衛			横折紙	1通	
J	13	1			享保十八年子年貢指引	享保18年			水江村伝兵衛	倉敷 安兵衛			横切紙	1通	
J	13	2			預り申下作手形之事	享保13年		正月11日	下作人 白葉市村七右衛 門・証人同村与助	倉敷宮崎屋安兵衛		糊が外れた付紙1枚あ り	縦紙	1通	
J	14				覚		亥	10月29日	井筒屋	宮崎屋	去酉年に貸渡した銀子 のうち、当10月に入銀 につき		小切紙	1通	

番号	番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	2	3	4	5											
J	15	1			寛保三年戌御年貢通	寛保3年			鳥羽村庄屋 伝兵衛 (印)	宮崎屋安兵衛			横折紙	1通	
J	15	2			寛保貳年戌御年貢通	寛保2年			鳥羽村庄屋 伝兵衛 (印)	宮崎屋安兵衛			横折紙	1通	
J	16				酒津村元文五年申御年貢請取通	元文5年	酉	6月	庄屋 利右衛門			3枚に分かれている	横継紙	1通	
J	17				酒津村元文五年申御年貢請取通	元文5年	申		不明	倉敷 与一右衛門		2枚に分かれている	横継紙	1通	
J	18				元文三年御年貢通	元文3年			庄屋 伝兵衛	倉敷 安兵衛			横折紙	1通	
J	19				元文四年未ノ御年貢通	元文4年			庄屋 伝兵衛	倉敷 安兵衛			横折紙	1通	
J	20				水夫帳	元禄15年	壬午	4月	高島安兵衛				横半帳	1冊	
J	21				元文五年申水江村御年貢通	元文5年			水江村名主 幸左衛門	倉敷 文蔵			横切紙	1通	
J	22				元文五年申御年貢請取通	元文5年			鳥羽村庄屋伝兵衛	倉敷 宮崎屋安兵衛			横折紙	1通	
J	23				寛			12月	沖口	宮崎屋 安兵衛			横切紙	1通	
J	24				寛		酉	12月	かず山庄屋伝右衛門・年寄兵右衛門	宮崎屋 安兵衛	御物成の書上		横切紙	1通	
J	25				(断簡)	未詳					白楽市村の年貢など書上	文書数通分が固着している	断簡一括	1点	
J	26	1			西のとし添新田年貢		酉	10月	沖新田庄屋 林右衛門	宮崎屋 安兵衛		裏面も書入あり。	横切紙	1通	
J	26	2			寛	寛保元年		12月29日	福島村猪介	みや崎屋安兵衛	米の受取		横継紙	1通	
J	26	3			寛保元年年貢米通	寛保元年		12月26日	吉田へ入作 名主 浅右衛門	倉敷村 宮崎屋安兵衛	鳥羽村曾平より米入分等	破損	横切紙	1通	
J	26	4			御年貢米通	寛保		27日	名主 浅右衛門	倉敷村 宮崎屋安兵衛	吉田へ入作分		横切紙	1通	
J	26	5			御年貢米請取通	元文4年		10月	早瀬村名主 善兵衛	倉敷安兵衛		後欠	横切紙	2枚	
J	26	6			御年貢米請取通	寛保元年	辛酉	11月晦日	中帯江庄屋 左治衛門	倉敷 宮崎や安兵衛		端裏書あり		1通	
J	26	7			御年貢米請取通	寛保元年	辛酉	11月晦日	高沼庄屋 太右衛門	宮崎屋安兵衛				1通	
J	27	1			寛		酉	2月27日	大のや伊平	宮崎や	米代として銭受取		小切紙	1通	
J	27	2			元文五年申御納受取	元文5年			徳芳村庄屋又太郎・倉敷安兵衛	不明	当村新兵衛より弁分		小切紙	1通	
J	28				[] 御年貢米請取通	寛保元年		9月	庄屋武兵衛		庄屋安兵衛分		横帳	1冊	
J	29				寛 (田畑の書上)	未詳			不明	不明	免、加損の書付あり		横切紙	2枚	
J	30				御年貢米通	元文5年	申	11月晦日	四十瀬新田村名主 十郎右衛門	倉敷 安兵衛		継ぎ目外れ2枚1通		1通	
J	31				寛 (田畑の加損・預米等の書上)	未詳			不明	不明			横折紙	2枚	
J	32	1			御宮算用	享保18年					丑年～申年分、諸入用代など書上		横帳	1冊	
J	32	2			寛		亥	10月29日	銭屋	宮崎屋	中島村・片島村の取替銀の受取		小切紙	1通	
J	33				(包紙カ)		丑			井上安兵衛			断簡	1枚	
J	34	1			酒津村享保十八丑御年貢請取通	享保18年			庄屋 利右衛門	宮崎屋 安兵衛		端裏書あり、3枚に分かれている	横切紙	1通	

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
J	34	2			酒津村丑御年貢米請取候事	享保18年	酉	6月	庄屋 利右衛門・權右衛門			2枚に分かれている	横切紙	1	通
J	35				享保十八丑浜村御年貢米請取	享保18年			庄屋政右衛門・安兵衛				横折紙	1	通
J	36				寛		丑	極月20日	鳥羽村伝兵衛	宮崎屋安兵衛	日用銀の件		横切紙	1	通
J	37				福島村御年貢米請取通	元文5年		12月25日	福島村名主 儀右衛門	倉敷宮崎屋 安兵衛			横継紙	1	通
J	38				延享元年御年貢請取之事	延享元年		12月27日	倉敷 水月庵				横切紙	1	通
J	39				元文五年申ノ算用	元文5年			倉敷 宮崎屋安兵衛	不明		断簡	横折紙	1	通
J	40				安太夫地五年切御年貢覚	丑		12月	笹沖村名主 幸右衛門	倉敷村 吉三郎	下田・下畑2筆分		横切紙	1	通
J	41	1			請取申麦成銀之事	享保18年		6月19日	四十瀬新田村 十郎右衛門	倉敷かハすや六郎右衛門			横切紙	1	通
J	41	2			請取申麦成銀之事	享保8年		6月19日	四十瀬新田村十右衛門	倉敷宮崎屋安兵衛			横切紙	1	通
J	41	3			請取申銭之事		丑	6月晦日	四十瀬新田村 十郎右衛門	倉敷かすや六郎右衛門	麦成銀の請取	棚が外れて2枚になっている	横切紙	1	通
J	41	4			請取申せに之事		丑	6月晦日	四十瀬新田村 十郎右衛門	倉敷 安兵衛	麦成銀の請取		横切紙	1	通
J	42	1			寛			12月28日	ささ沖幸右衛門	くらしき安兵衛	安太夫より入分		横切紙	1	通
J	42	2			御年貢米請取通	享保18年		9月		四十瀬村名主 弥平次	倉敷村 安兵衛		横切紙	1	通
J	42	3	1		大島 [] 年貢米通	享保18年			名主 長介	安兵衛		後欠	横切紙	1	通
J	42	3	2		(年貢米算用書)	(享保18年力)			長介	不明		前欠	横切紙	1	通
J	43	3	3		(年貢米算用書)	未詳			不明	不明		前後欠	横切紙	1	通
J	43	3	4		(年貢米算用書)	未詳			不明	不明		前後欠	横切紙	1	通
J	43				[初めの書上]				宮崎や安へえ				横切紙	1	通
J	44				享保十八巳年御年貢米請取通	享保18年			平田村庄屋 甚八	倉敷 与一右衛門			横切紙	1	通
J	45				秋成之覚		丑	10月19日	沖新田庄屋 林右衛門	宮崎屋安兵衛	請取皆済につき		横継紙	1	通
J	46				御年貢米通	享保8年		9月	吉岡村名主権太郎	倉敷安兵衛				1	通
J	47	1			請取申御麦銀札		丑	7月4日	四十瀬村名主弥平次	倉敷 宮崎屋安兵衛				1	通
J	47	2			請取申御麦銀札		丑	7月4日	四十瀬村名主弥平次	倉敷 宮崎屋安兵衛		2枚に分かれている	横切紙	1	通
J	48				寛		丑			宮崎屋 安兵衛	手形につき	虫損	横継紙	1	通
J	49				笹沖村御年貢通	享保18年			名主幸右衛門	倉敷 安兵衛		棚が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
J	50				(享保十一年免定)	享保11年					本田、新田分など書上	フケている、断簡	横切紙	1	通
J	53				寛				不明	不明	吉三郎分ほか		横切紙	1	通
J	54				酒津村申御年貢請取通 倉敷安之丞	元文5年		6月	庄屋利右衛門				横継紙	1	通
J	55				元文二年御年貢通	元文		27日	庄屋 伝兵衛	倉敷 安兵衛			横切紙	1	通
J	56	1			西阿知村寛保元年御年貢米請取	寛保元年			名主 又兵衛ほか	安兵衛・与一右衛門		端裏書あり、くくり紐一括J56-1～3	横切紙	2	点
J	56	2			西阿知村寛保元年御年貢米請取	寛保元年			西阿知村名主 五兵衛・幾右衛門・曾平			端裏書あり	横切紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
J	56	3			西阿知村西御年貢米請取通	寛保元年			名主又兵衛ほか			糊が外れて3枚になっている	横切紙	1通	
K	0				〔くくり紐〕	未詳		未詳						1点	
K	1	0			〔井上伯父・冬太郎宛萬屋仏事封筒断簡〕	未詳			井上御伯父・伯母	萬屋仏事	礼状			1枚	
K	1	1	1		〔川口源右衛門書状〕	未詳		11月15日			おかの様の件		小切紙	1通	
K	1	1	2		〔井上御伯父・尾崎生三宛川口源右衛門・宇太郎書状〕	未詳		9月6日	川口源右衛門・宇太郎	井上御伯父・尾崎生三	体調うかがい		横継紙	1通	
K	1	1	3		〔川口源右衛門書状〕	未詳		11月15日	不明	不明	見舞いに行けなかったこと詫びほか	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1通	
K	1	1	4		〔井上伯母宛川口源五右衛門書状〕	未詳		11月15日	川口源右衛門	井上御伯母	浅野氏拜禮の件ほか	糊が外れて3枚になっている	横継紙	1通	
K	1	1	5		〔井上御伯母宛川口源五右衛門書状〕	未詳		11月15日	川口源五右衛門	井上御伯母・冬太郎	後妻入用の品につき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1通	
K	1	1	6		〔井上宛森嶺書状〕	未詳		5月31日	森嶺	井上	清酒・煙草・新聞代の支払いにつき		横継紙	1通	
K	1	1	7		〔井上伯母・冬太郎宛川口源右衛門書状〕	未詳		5月3日	川口源右衛門	井上御伯母・冬太郎	尾崎生三の件		横継紙	1通	
K	1	1	8		〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	餐応のお礼、浅野氏へご苦勞をかけた件、ほか	後欠	横切紙	1通	
K	1	1	9		〔井上御伯父・冬太郎宛川口源五右衛門書状〕	未詳		未詳	川口源五右衛門	井上御伯父・冬太郎	山路音三郎様の件ほか		横継紙	1通	
K	1	1	10		〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	健康を祈念する		小切紙	1通	
K	1	1	11		〔井上御伯父・冬太郎宛川口源五右衛門書状〕	未詳		6月28日	川口源五右衛門	井上御伯父・冬太郎	縁談相手につき		横継紙	1通	
K	1	2	1		〔井上御伯父・御伯母宛川口源右衛門書状〕	未詳		12月21日	川口源右衛門	井上御伯父・伯母	上角の浅野氏方へは佐藤宇四郎様へ相談の件	2枚に分かれている	横継紙	1通	
K	1	2	2		〔井上御伯父・御伯母宛川口源右衛門書状〕	未詳		12月3日	川口源右衛門	井上御伯父・伯母	実家伯父の法事のお礼	2枚に分かれている	横継紙	1通	
K	1	2	3		〔井上信蔵宛近藤一次書状〕	未詳		4月1日	近藤一次	井上信蔵	煙簀担当御礼の品に対するお礼		小切紙	1通	
K	1	2	4		〔井上信蔵・冬太郎宛香取源二郎書状〕	未詳		1月10日	香取源二郎	井上信蔵・冬太郎	例年通り羽島法輪寺にて祈禱の件ほか		横切紙	1通	
K	1	2	5		〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	文末の時候の挨拶部分		断簡	1通	
K	1	3			〔井上御伯父宛川口源右衛門書状〕	未詳		12月27日	川口源右衛門	井上御伯父	冬太郎様妻御縁の件	2枚に分かれている	横継紙	1通	
K	2	0			〔井上信三宛五十川封筒〕	未詳		未詳	五十川	井上信三	〔福山五十川〕		封筒	1枚	
K	2	1			〔井上父・伯父宛五十川源吉書状〕	未詳		3月31日	五十川源吉	井上御父上・御伯父上	煙簀のお礼		横折紙	1通	
K	2	2			〔井上宛五十川源吉書状〕	未詳		4月1日	五十川源吉	井上	鮮魚のお礼、副書		小切紙	1通	
K	2	3			〔井上信蔵宛近藤一次書状〕	未詳		4月1日	近藤一次	井上信蔵	煙礼の贈物のお礼		小切紙	1通	
K	2	4			記	未詳	己丑	4月1日	近藤	井上	松魚と反物料の受取		小切紙	1通	
K	2	5			〔井上信造宛五十川源吉書状〕	未詳		6月5日	五十川源吉	井上信造	菓子のお礼、母上の入院の見舞い	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1通	
K	3				〔断簡〕	未詳		未詳						1枚	

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
K	4	0			(井上冬太郎宛封筒断簡)	未詳		未詳			「他所親類」	糊がはがれている	封筒	2枚	
K	4	1			(井上信蔵・秀蔵宛鳥羽書状)	未詳		未詳	鳥羽俊老	井上信蔵・秀蔵	婚禮の饅頭のお礼	2枚に分かれている	横継紙	1通	
K	4	2			(井上信蔵宛児島虎一郎書状)	未詳		9月14日	児島虎一郎	井上信蔵	団扇のお礼	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1通	
K	4	3			(井上亮三宛金出地四郎三書状)	未詳		9月20日	金出地四郎三	井上亮三	御使いの久助へ渡した金につき	破れあり	罫紙	1通	
K	4	4			(井上御叔父・冬太郎宛三宅止四郎書状)	未詳		11月5日	三宅止四郎	井上御父上・冬太郎	霊前見舞い		横継紙	1通	
K	4	5			(菊井八十郎宛児島虎一郎書状)	未詳		10月17日	児島虎一郎	菊井八十郎			横継紙	1通	
K	4	6			(井上信蔵宛橋本六兵衛書状)	未詳		7月26日	橋本六兵衛	井上信蔵	婚姻のお祝い	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1通	
K	4	7			(川口源右衛門書状)	未詳		未詳	川口源右衛門		品物進呈につき	前欠	横切紙	1通	
K	5	0			(井上長兄宛吉田健三書状)	未詳		7月29日	吉田健三	井上長兄	封筒のみ		封筒	1枚	
K	5	1	1		(井上冬太郎宛吉田健三書状)	未詳		12月24日	吉田健三	井上冬太郎	返却物延引の詫び	罫紙2枚	罫紙	1通	
K	5	1	2		(断簡)	未詳		未詳	不明	不明	山野樺の養生につき	前後欠	断簡	1通	
K	5	2			(井上冬太郎宛吉田健三書状)	未詳		1月10日	吉田健三	井上冬太郎	高梁寿栄堂の件		横継紙	1通	
K	5	3			(井上賢兄宛吉田健三書状)	未詳		10月20日	吉田健三	井上賢兄	狩野派の掛軸3幅拝借願		横切紙	1通	
K	5	4			(井上長兄宛吉田健三書状)	未詳		4月19日	健三	井上長兄	税金戸数割と営業組合費の徴収の件		横継紙	1通	
K	5	5	1		(井上両人宛吉田健三書状)	未詳		10月8日	吉田健三	井上御両人	予て約束の瓶借用につき	2枚に分かれている	横継紙	1通	
K	5	5	2		(井上御両人宛吉田健三書状)	未詳		12日	吉田健三	井上賢兄	瓶の借用につき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1通	
K	5	6			(井上信三・亮三宛吉田健三書状)	未詳		10月30日	吉田健三	井上信三・亮三	需祭の開催日につき		罫紙	1通	
K	5	7			(井上宛吉田寿書状)	未詳		6月5日	吉田寿	井上	調印の依頼につき		横継紙	1通	
K	5	8			(井上長兄宛吉田健三書状)	未詳		2月9日	吉田健三	井上長兄	三宝・掛軸などの拝借願		横切紙	1通	
K	5	9			換告	未詳		8月20日	吉田健三	井上冬太郎	重箱拝借のお礼に梨差し上げにつき		横継紙	1通	
K	5	10			覚	未詳	辰	極月28日	篠右衛門	井上曹兄	生綱代の引き合い	2枚に分かれている	横継紙	1通	
K	5	11			(井上冬太郎宛吉田健三書状)	未詳		3月10日	吉田健三	井上冬太郎	小遣いの拝借につき		横継紙	1通	
K	5	12			(井上冬太郎宛吉田健三書状)	未詳		18日	吉田健三	井上冬太郎	小川氏講取の分など		罫紙	1通	
K	5	13			(井上冬太郎宛吉田健三書状)	未詳		12月7日	吉田健三	井上冬太郎	卒業試験のため参堂できないことへの詫び		罫紙	1通	
K	5	14			(井上長兄宛吉田健三書状)	未詳		3月16日	吉田健三	井上賢兄	学年試験多忙につき		横継紙	1通	
K	5	15			(井上賢兄宛吉田健三書状)	未詳		12日	吉田健三	井上賢兄	一献差し上げたい件		横継紙	1通	
K	6	1	0		(井上宛封筒)	未詳		未詳	不明	井上	表書抹消、裏面に「大東」		封筒	1枚	
K	6	1	1		(井上亮三宛高戸収書状)	未詳		9月12日	高戸収	井上亮三	倉敷県から岡山県に出仕したい件につき		罫紙3枚	1通	

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
K	6	1	2		(高戸稻次宛高戸源二郎書状)	未詳		8月18日	高戸源二郎	高戸稻次	船にて帰郷の件、コレラの蔓延の件、ほか	前欠	横切紙	1	通
K	6	1	3		(井上信蔵宛源二郎書状)	未詳		1月18日	源二郎	井上信蔵	法輪寺祈禱につき		罫紙	1	通
K	6	1	4		(井上信蔵・冬太郎宛香取源二郎書状)	未詳		1月10日	香取源二郎	井上信蔵・冬太郎	羽島の法輪寺祈禱の開催につき		横継紙	1	通
K	6	2	0		(井上冬太郎宛浅野助太郎書状封筒)	未詳		未詳	浅野助太郎	井上冬太郎		封筒のみ		1	枚
K	6	2	1		(井上信蔵・冬太郎宛内藤綿七郎ほか書状)	未詳		11月5日	内藤綿七郎ほか	井上信蔵・冬太郎	粗末な魚1尾呈上につき	糊が外れて4枚になっている	横継紙	1	通
K	6	2	2		(井上冬太郎宛浅野豊太郎書状)	未詳		23日	浅野豊太郎	井上冬太郎	手紙着き次第冲野村小野井平方へ連絡		横継紙	1	通
K	6	2	3		(井上信蔵・冬太郎宛浅野助太郎書状)	未詳		12日	浅野助太郎	井上信蔵・冬太郎	17日の12時21分発の汽車にて来着願	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
K	6	2	4		(井上冬太郎宛浅野助太郎書状)	未詳		5月28日	浅野豊太郎	井上冬太郎	来庫のお礼		横折紙	1	通
K	6	3			(断簡)	未詳		未詳	不明	不明	宛先の尊称部分のみ		断簡	1	枚
L	0				(紙紐)									1	点
L	1				御報告	昭和12年		6月4日	岡山県神職会都窪郡支部常議員 浅野間千虎・井上栄夫		常会評議員の大森氏支部長の辞任につき	印刷	小切紙	3	通
L	2				(井上栄夫宛大森敬治書状)			12月大晦日	老敬	井上	来月4日に在宅願い	2枚1通	罫紙	1	通
L	3				(神宮大麻暦頒布清算報告)			4月5日	井上栄夫	神職会都窪郡支部長 大森敬治	明細書3枚	封筒あり	罫紙、印刷	1	通
L	4				(井上栄夫宛奥藤益雄書状)			4月3日	大森敬治	井上栄夫	脇本氏と京都参観の報告、井上栄夫宛大森敬治書状(祈年祭の支援のお礼)同封	封筒あり	横折紙	1	通
L	5				(井上栄夫宛大森敬治書状)			5月24日	老敬	井上	支払金解消につき	封筒あり、2枚1通	横切紙	1	通
L	6				(井上栄夫宛岡山県神職会都窪郡事務所書状)	昭和9年		9月29日	岡山県神職会都窪郡支部事務所	井上栄夫	神社破損・神職家族罹災に関する特急照会	封筒あり、封筒上書きあり	罫紙	1	通
L	7				(井上栄夫宛大森敬治書状)			23日	敬治	井上	受領書につき	糊が外れて2枚になっている	小切紙	1	通
L	8				(井上栄夫宛大森敬治書状)			5月3日	敬治	井上	40円延引につき		横継紙	1	通
L	9				(井上栄夫宛大森敬治書状)			未詳	老敬	井上	県神職会につき	封筒あり	横継紙	1	通
L	10				(井上栄夫宛大森敬治書状)			5月16日	老敬	井上	備中神職会員債の件	封筒あり、糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
L	11				(井上栄夫宛大森敬治書状)			23日	老敬	井上	弊地例祭援助のお礼	封筒あり、糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
L	12				(井上宛大森敬治書状)			7月	老敬	井上	4月19日の会につき		横切紙	1	通
L	13				(井上栄夫宛大森敬治書状)	昭和8年		1月5日	愚敬	井上栄夫	受取の大森料のお礼		罫紙	1	通

番号	番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	2	3	4	5											
L	14				〔神宮大麻頒布式の招待状〕	未詳		11月12日	支部長 大森敬治	会員	中庄村熊野神社において開会につき	2枚一括	印刷	1	通
L	15				御報告	昭和12年		6月4日	岡山県神職会都窪郡支部 常議員浅野間千虎・井上 栄夫		常会評議員の大森氏支 部長の辞任につき	印刷	小切紙	1	通
L	16				〔阿知神社関係書類〕	未詳					御祈禱願札12枚、「工 場ニテ準備」書付1枚、 計算書1枚	藤原兵蔵宛阿知神社 社務所の封筒入	一括	1	枚
L	17				〔井上栄夫宛大森敬治葉書〕	昭和5年			中庄 難波敬治	社司 井上栄夫	祈年祭執行の件ほか	大森敬治宛井上栄夫 書状1通含む	葉書	7	通
L	18				昭和十七年度収入支出予算			未詳	不明		祭典費ほか	横継紙	横が外れて 2枚になっ ている	1	通
L	19				〔井上宛し〇書状〕	未詳		3月25日	し〇	井上	決算会で社務所使用の お札	横が外れて3枚になっ ている	横切紙	1	通
L	20				〔井上社司宛敬治書状〕	未詳		4月7日	敬治	井上社司	競馬開会につき万寿発 会の会場借入願	横が外れて3枚になっ ている	横継紙	1	通
L	21				八幡神社財産目録	未詳		未詳	不明		特別財産の部	印刷		1	通
L	22				〔封筒〕									8	枚
L	23				〔星鯉サイダーのラベル〕	未詳								1	枚
L	24				〔断簡〕	未詳					井上栄夫の名札ほか		断簡一括	1	点
M	1				〔経文〕	未詳							横切紙	1	通
M	2				〔玉泉寺施主家永井主人宛智積院僧正弘基書 状〕	未詳		7月15日	智積院僧正弘基	玉泉寺施主家永井主人	玉泉寺空恵律師海状		折紙	1	通
M	3				〔玉泉寺宛久富遠江守ほか書状〕	未詳		閏月10日	久富遠江守久連・芝蔴地 治部卿	玉泉寺	年始御札献上		折紙	1	通
M	4	1			〔玉泉寺宛矢守左衛門権大尉ほか書状〕	(安政5 年)		8月晦日	矢守左衛門権大尉・山崎 近江介	玉泉寺	入室得度祝儀金披露	M-4-1~3包紙入り	折紙	1	通
M	4	2			寛	安政5年		8月晦日	執達当番吉田尾張介	玉泉寺	入室得度祝儀金披露		縦紙	1	通
M	4	3			寛	安政5年		8月晦日	執達当番矢守左衛門権大 尉	玉泉寺	入室得度祝儀金披露		縦紙	1	通
M	5				金堂勧誘金請取通	未詳			高野山再建懸	玉泉寺			折紙	1	通
M	6				起請文之事	寛政12年		2月	松井源〇〇	年寄中	町足軽役任命につき		横継紙	1	通
M	7				勸誘金之請証	天保14年		11月14日	高野山南院知事	玉泉寺	本堂再建		横切紙	1	通
M	8				〔和歌短冊〕	未詳			栄ほか		逸見氏の大坂転居など		短冊	2	枚
M	9				〔大田宮御札〕	未詳							包紙入り	1	点
M	10				〔和歌〕	未詳		未詳	不明		松の常葉をうつつして 千 代に移らぬ記念にはせ る	破れて2枚になってい る	短冊	2	枚
N	1	1			〔井上信蔵・冬太郎宛海野隆彦・助太郎書状〕	未詳		1月5日	海野助太郎・隆彦	井上信蔵・冬太郎	鏡餅ほか進呈につき		横折紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
N	1	2			(井上冬太郎宛浅野助太郎書状)	未詳		10月7日	浅野助太郎	井上冬太郎	祭礼招待		横継紙	1	通
N	1	3			(井上尊兄ほか宛佐藤宇七郎)	未詳		9月3日	佐藤宇七郎	井上尊兄・冬太郎	安産のお祝い		横継紙	1	通
N	1	4			(井上宛隆彦書状)	未詳		6月12日	隆彦	井上尊大兄	進物	前欠	横継紙	1	通
N	1	5			(書状)	未詳					御年玉進呈	後欠	横継紙	1	通
N	1	6			(井上冬太郎宛浅野助太郎書状)	未詳		11月28日	浅野助太郎	井上冬太郎	紙雛の囀につき		横継紙	1	通
N	1	7			(井上冬太郎宛高戸善七郎書状)	未詳		2月4日	高戸善七郎	井上冬太郎	三原の榎崎氏死去		横継紙	1	通
N	1	8			(井上御叔父・井上冬太郎宛浅野冬太郎書状)	未詳		1月12日	浅野冬太郎	井上御叔父・井上冬太郎	紺足袋2足入用依頼の件 ほか		横継紙	1	通
N	1	9			(井上信蔵ほか宛浅野助太郎書状)	未詳		5月22日	浅野助太郎	井上信蔵・冬太郎	御馳走の礼		横切紙	1	通
N	1	10			(井上信蔵ほか宛浅野助太郎書状)	未詳		9月3日	浅野助太郎	井上信蔵・冬太郎	御馳走の礼		横継紙	1	通
N	1	11			(井上冬太郎宛小野耕更書状)	未詳		1月19日	小野耕更	井上冬太郎	帳簿助力につき		横継紙	1	通
N	2	1	1		(斎松兄宛□□積書状)	未詳		6月1日	□□積	篤兄	未返却は関係ないとの 弁明	前欠か	縦紙	1	通
N	2	1	2		(井上宛宇積書状)	未詳			宇積	井上	沖村金子の件	後欠 包紙あり	縦紙	1	通
N	2	2			(宇津宛三蔵書状)	未詳		31日	三蔵	宇津	沖村小作人の件		横継紙	1	通
N	3				追加増米	享保12年	丁未	6月1日	池田継政	水野彦五郎 (御能力)	6使加増	包紙あり	縦紙	1	通
N	4	0			(倉敷煙草の包装紙)	未詳			倉敷煙草製造会社		「両家書翰」の書入あ り	破片1枚あり		2	枚
N	4	1			(井上信造ほか宛高戸善七郎書状)	未詳		2月5日	高戸善七郎	井上信造・冬太郎	菓の礼		横継紙	1	通
N	4	2			(井上冬太郎宛善七郎書状)	未詳		1月15日	高戸善七郎	井上冬太郎	安産お祝い	4-3の追伸か	横切紙	1	通
N	4	3			(井上兄上ほか宛高戸善七郎書状)	未詳		1月15日	高戸善七郎	井上兄上・冬太郎	御年玉の礼		横継紙	1	通
N	4	4			(井上冬太郎宛高戸染三郎書状)	未詳		5月18日	高戸染三郎	井上冬太郎	郵便配達につき		横継紙	1	通
N	4	5			(井上冬太郎宛高戸郁三書状)	未詳		1月11日	高戸郁三	井上冬太郎	年賀		横継紙	1	通
N	4	6			(井上信造ほか宛高戸善七郎書状)	未詳		10月27日	高戸善七郎	井上信造・冬太郎	法事案内		横継紙	1	通
N	4	7			(井上姉上宛善七郎書状)	未詳		11月28日	善七郎	井上姉上	岡山国清寺の脳病まじ ないにつき		横継紙	1	通
N	4	8			(井上御叔父・井上冬太郎宛高戸郁三書状)	未詳		11月9日	高戸郁三	井上御叔父・井上冬太郎	亡父三回忌のお礼		横継紙	1	通
N	5				差出申一札之事	天明6年		4月	新田善左衛門後家かね他 5人	月番五蔵	孫吉蔵の別送り	包紙あり	縦紙	1	通
N	6				(起請文の包紙)	未詳					(上書)「牛王」		一紙	1	枚
N	7				覚	未詳		1月5日	広輔	七太夫ほか4人	村方への引受願人書上 げ		横継紙	1	通
N	8				(断簡)	未詳							横帳	3	枚
Q	1				(井上冬太郎宛難波斎三書状)	未詳		10月23日	難波斎三	井上冬太郎	四方竹の件	封筒あり	小切紙	1	通
Q	2				(井上冬太郎宛吉本勝書状)	未詳		10月22日	吉本勝	井上冬太郎	交換の煙管の件	糊が外れて2枚になっ ている、封筒あり	横継紙	1	通
Q	3				(井上冬太郎宛浅野豊太郎書状)	未詳		10月22日	浅野豊太郎	井上冬太郎	樽入用の件	糊が外れて3枚になっ ている、封筒あり	横継紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
Q	4				(井上冬太郎宛尾崎生三書状)	未詳		旧12月23日	尾崎生三	井上冬太郎	龜山万作の年貢の件	封筒あり	小切紙	1	通
Q	5				(井上冬太郎宛小野耕平書状)	明治28年		9月11日	小野耕平	井上冬太郎	金円の調達送金の件	糊が外れて2枚になっている、封筒あり	横継紙	1	通
Q	6				(井上寒太郎宛真殿理一郎書状)	未詳		3月10日	真殿理一郎	井上寒太郎	真殿林三郎死去の知らせ	糊が外れて2枚になっている、封筒あり	横継紙	1	通
Q	7				(書状)	未詳		未詳	不明	不明	真鍋次郎吉と菅三郎の岡山への聞き合わせの件	後欠	横継紙	1	通
Q	8				(うもじ宛たつ書状)	未詳		未詳	たつ	うもじ	私信		横継紙	1	通
Q	9	0			(包紙)	未詳		未詳			上書「取組」	新聞	印刷	1	枚
Q	9	1			(井上冬太郎宛小山慎平書状)	未詳		未詳	小山慎平	井上冬太郎		封筒のみ	破損大	1	枚
Q	9	2			(狩野先生宛岡安次郎書状)	未詳		2月26日	岡安次郎	狩野先生	擲筆につき			1	通
Q	9	3			(井上冬太郎宛尾崎生三書状)	未詳	辰	旧12月30日	尾崎生三	井上冬太郎	小作米算用帳を送ってほしい		横切紙	1	通
Q	9	4			(井上信造・冬太郎宛高取善七郎書状)	未詳		3月24日	高取善七郎	井上信造・冬太郎	紙雛や面幅などの件	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
Q	9	5			(井上宛書状)	未詳		6月7日	善七郎	井上	真殿様と面談の件		野紙	1	通
Q	9	6			(井上冬太郎宛尾崎生三書状)	未詳		旧12月28日	尾崎生三	井上冬太郎	歳暮品の送付につき	糊が外れて2枚になっている		1	通
Q	9	7			(井上御兄・御姉上宛高戸善七郎書状)	未詳		5月2日	高戸善七郎	井上御兄・御姉上	岡山での買い物の件など			1	通
Q	9	8			(井上冬太郎宛浅野豊太郎書状封筒)	未詳		未詳	浅野豊太郎	井上冬太郎		封筒のみ	封筒	1	枚
Q	9	9	1		(井上信蔵・冬太郎宛浅野豊太郎書状封筒)	未詳		5月7日	浅野豊太郎	井上冬太郎	七祖母の五十回忌の参列願	糊が外れて2枚になっている	横切紙	1	通
Q	9	9	2		(井上冬太郎宛井上虎三書状)	未詳		9月28日	井上虎三	井上冬太郎	役場納金・筋續掛金の上納につき	封筒あり	小切紙	1	通
Q	9	9	3		(井上冬太郎宛虎三書状)	未詳		25日	井上虎三	井上冬太郎	役場より地価書上につき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
Q	9	9	4		(井上冬太郎宛虎三書状)	未詳		旧8月2日	井上虎三	井上冬太郎	内田金衛の件		小切紙	1	通
Q	9	9	5		(書状)	未詳		未詳	不明	不明	進物の件	糊が外れて2枚になっている	小切紙	1	通
Q	10				(井上冬太郎宛浅野豊太郎書状)	未詳		10月21日	浅野豊太郎	井上冬太郎	袴地の件	糊が外れて3枚になっている	横継紙	1	通
Q	11				(井上冬太郎宛尾崎生三書状)	未詳		9月19日	尾崎生三	井上冬太郎	渡場掛金の上納につき	封筒あり	小切紙	1	通
R	1	1			(井上信造宛橋本与平書状封筒)	未詳		未詳	橋本与平	井上信造		封筒のみ	封筒	1	枚
R	1	2			(井上信造宛橋本与平書状)	未詳		10月21日	橋本与平	井上信造	快気祝いの松魚と扇を進呈につき		横継紙	1	通
R	2	1			(白紙)	未詳		未詳	不明	不明				1	枚

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
R	2	2			〔書状断簡〕	未詳			不明	不明	案文、十三日の仏寺につき	前後欠、破損大	横継紙	1	通
R	2	3			〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	御郵書埋見につき	後欠	横継紙	1	通
R	2	4			〔白紙〕	未詳		未詳	不明	不明	長音記号か	前後欠	断簡	1	枚
R	3	0			〔おうもしじ宛たつ書状〕	未詳		9月20日	たつ	うもし	中元のお礼ほか	糊が外れて3枚になっている	横継紙	1	通
R	3	1			〔書状断簡〕	未詳			不明	不明	見舞につき	前後欠	横継紙	1	通
R	3	2			〔書状断簡〕	未詳			不明	不明	万事不都合につき	前後欠	横継紙	1	通
R	3	3			堀へ遣ふ死去ノ礼状案	未詳			不明	不明	亮三死去につき		横継紙	1	通
R	3	4			〔秋山広斗・吉田清二郎ほか宛書状案〕	未詳			不明	不明	旧11月4日～5日の仏祭につき	R3-4～R3-6を糊付け、後欠	横継紙	1	通
R	3	5			〔書付〕	未詳		未詳	不明	不明	内家内などの人数書上		横継紙	1	通
R	4	1			〔くくり紐〕	未詳		未詳	不明	不明			ひも	1	点
R	4	2			〔書状〕	未詳		1月21日	不明	不明	本社存続の一大要件につき	前後欠	横継紙	1	通
R	4	3			〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	お政の初節句の祝いに	後欠、糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
R	4	4			〔直左右衛門宛書状案〕	未詳			不明	直左右衛門	以野氏見舞いの品送付につき	朱書き訂正あり	横継紙	1	通
R	4	5			〔堀直左衛門宛書状〕	未詳		未詳	不明	堀直左衛門	妊娠中のお礼	裏紙は「家事二付入用分」	横折紙	1	通
R	4	6			〔真殿卯三郎宛井上信造・冬太郎書状〕	未詳		11月	井上信造・冬太郎	真殿卯三郎	来年の婚儀につき		横折紙	1	通
R	4	7			〔書状〕	未詳		未詳	不明	不明	お政の出産につきお礼、下書き	出入金書上の反古紙を使用	横折紙	1	通
R	4	8	1		〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	薄暮の候の挨拶部分	後欠	横継紙	1	通
R	4	8	2		〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	片づけ残りの物品について	前後欠	横継紙	1	通
R	4	9			〔書状〕	未詳			不明	不明	全快祝いのお礼		横折紙	1	通
R	4	10			〔杉原善太郎宛井上信造書状〕	未詳		6月8日	井上信造	杉原善太郎	案文、過日御話の儀は親戚へたずねること、ほか	2枚1組	横継紙	1	通
R	4	11			〔書状案〕	26年		6月5日	不明	不明	初菫蒲の祝儀お礼	包紙「粗糞」の裏紙利用	横折紙	1	通
R	4	12	1		〔広岡養老宛西沢六蔵書状〕	未詳		7月4日	西沢六蔵	広岡養老	2月中に用達分の返却につき	R4-12-2は下書き	罫紙	1	通
R	4	12	2		〔書状案〕	未詳			不明	不明	取替の金銭の返却催促(R4-12-1の案文)	鉛筆書あり	罫紙	1	通
R	4	13			〔吉田清太郎宛井上信造書状〕	明治22年		2月19日	井上信造	吉田清太郎	寿妻縁談の件		罫紙	1	通
R	4	14			〔書状〕	未詳		未詳	不明	不明	28日契斗納につき	後欠	横継紙	1	通

番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	2	3	4	5										
R	4	15	1	〔飯田薫宛井上冬太郎・井上信造書状〕	未詳		3月	井上冬太郎・井上信造	飯田薫	家族の近況、恵贈品の お礼		横継紙	1	通
R	4	15	2	〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	老母様の御儀につき	後欠	横継紙	1	通
R	4	16		〔川口源五右衛門宛書状〕	未詳		7月8日	不明	川口源五右衛門	かの縁談につき、下書 き		野紙	1	通
R	4	18	1	〔書状〕	未詳			不明	不明	音三郎の縁礼につき		野紙	1	通
R	4	18	2	〔堀謙二郎宛書状案〕	未詳			不明	堀謙二郎	亮三の会葬のお礼		野紙	1	通
R	4	19		〔山路幸太郎宛井上信造書状〕	未詳		5月	井上信造	山路幸太郎	おもと様の安産見舞い につき、下書き		横折紙	1	通
R	4	20		〔堀謙次郎宛井上信造書状〕			8月	井上信造	堀謙次郎	お見舞いの品送付につ き		横継紙	1	通
R	4	21		〔書状断簡〕	未詳			不明	不明	大橋氏より申上た通り 万事不都合につき		横継紙	1	通
R	4	22		〔書状断簡〕	未詳			不明	不明	墓参にも行けない詫び など、朱書き修正あり	糊が外れて2枚になっ ている	横継紙	1	通
S	1			〔井上御うもじ宛ほり多門書状〕	未詳		未詳	井上御うもじ	ほりたつ	文のことで尋ねたい件	糊が外れて2枚になっ ている	横継紙	1	通
S	1	1		〔書翰袋〕	未詳		未詳	いのうえ		上書「諸々書翰入 い のうえ」		袋	1	点
S	1	2	1	〔井上〔 〕宛川口源五右衛門書状〕	未詳		11月24日	川口源五右衛門	井上	冬太郎様御妻縁につき	糊が外れて2枚になっ ている	横継紙	1	通
S	1	2	2	〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	井上伯父・冬太郎	断簡		断簡	1	枚
S	1	3		〔書状〕	未詳		11月20日	〔川口源五右衛門〕	不明	鳶屋三霊の法事につき	糊が外れて2枚になっ ている	横切紙	1	通
S	1	4		〔書状〕	未詳			不明	不明	追伸文、当日祭礼につ き勤めは不要	前後欠か	横継紙	1	通
S	1	5	1	〔書状断簡〕	未詳			不明	不明	栄山寿慶大師代百回忌 等につき	後欠	横継紙	1	通
S	1	5	2	〔井上信蔵・冬太郎宛高戸善七郎・栄三郎書 状〕	未詳		10月13日	高戸善七郎・栄三郎	井上信蔵・冬太郎	古仏事または小児の仏 事のためお勤めは無用 とのこと	前欠	横継紙	1	通
S	2			〔井上御うもじ宛ほり多門書状〕	未詳		2月6日	井上御うもじ	ほりたつ	歳暮のご祝儀のお礼ほ か		横折紙	1	通
S	2	1		〔封筒〕	未詳		未詳	繁八		上書「書付入」		封筒	1	枚
S	2	2	1	覚	未詳		未詳	不明	不明	辰12月～巳5月の借入金 書上	虫損	横継紙	1	通
S	2	2	2	〔金札書上〕	未詳	辰	未詳	つくばや繁八	算屋	6月～11月分、徳川金や 金札など書上	前欠	横継紙	1	通
S	3			〔封筒〕	未詳		未詳	浅の	井上おくか			封筒	1	枚

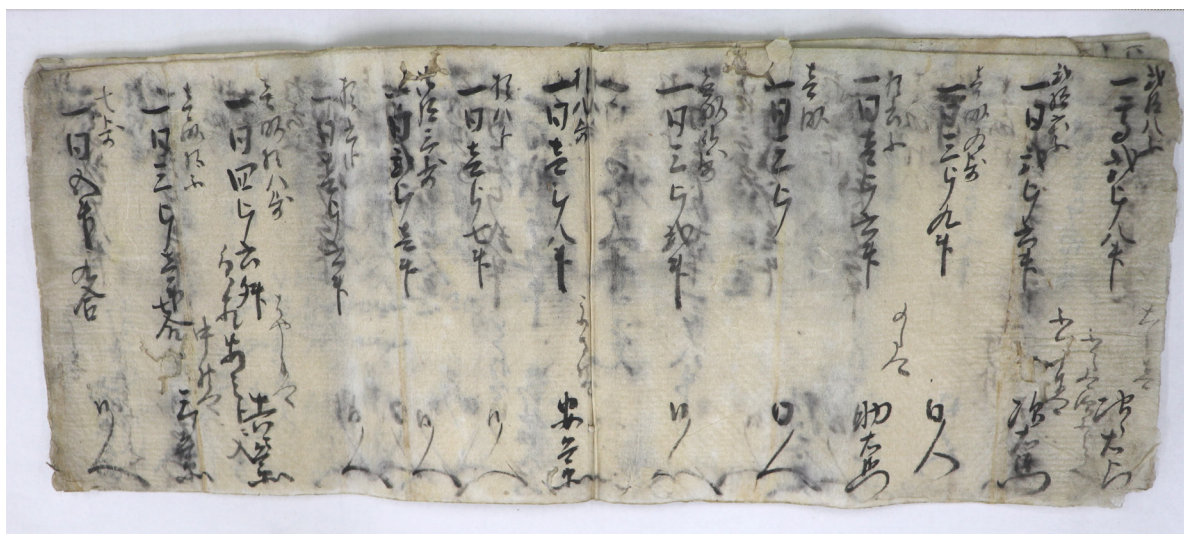
番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
S	4	0			(三左衛門宛伴右衛門書状)	未詳		11月22日	沖新田村庄屋伴右衛門	年寄月番三右衛門	前神町宇兵衛娘の賀銀未払いにつき	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	4	1			〔封筒〕	未詳		未詳	佐藤宇七郎	井上尊兄・冬太郎			封筒	1	通
S	4	2			〔尾崎亀五郎宛佐藤久米三・栄太郎書状〕	未詳		4月18日	佐藤久米三・佐藤栄太郎	尾崎亀五郎	諸令院常行姉の二十五回忌につき		横継紙	1	通
S	4	3			〔井上尊兄・冬太郎宛佐藤宇七郎書状〕	未詳		1月23日	佐藤宇七郎	井上冬太郎	貴家御所有地の取立につき	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	4	4			〔井上尊兄・冬太郎宛佐藤宇七郎書状〕	未詳		2月28日	佐藤宇七郎	井上尊兄・冬太郎	冬太郎御来東のお礼	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	4	5			〔村上大兄・冬太郎宛佐藤宇七郎書状〕	未詳		11月7日	佐藤宇七郎	村上大兄・冬太郎	粗末品呈上につき		罫紙	1	通
S	4	6	1		〔書状断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	御見立券につき	後欠	横継紙	1	通
S	4	6	2		〔井上尊兄・冬太郎宛佐藤宇七郎書状〕	未詳		3月26日	佐藤宇七郎	井上尊兄・冬太郎	粗末な品呈上につき	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	4	7			〔井上尊兄・冬太郎宛佐藤宇七郎書状〕	未詳		1月10日	佐藤宇七郎	井上尊兄・冬太郎	来月の鏡餅の件ほか	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	4	8			〔断簡〕	未詳		未詳	ほりたつ	井上御うもじ			断簡	1	枚
S	5				〔おまさ宛母書状〕	未詳		10月10日	母	おまさ	庄之助の見舞いにつき	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	6	1			〔書状〕	未詳			不明	不明	御地分舎残務につき謝罪	後欠	罫紙	1	通
S	6	2			〔井上老台宛三宅武二郎書状〕	未詳		未詳	三宅武二郎	井上老台	女子への見事な品へのお礼	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	6	3			〔井上老台宛たけ口口書状〕	未詳		4月30日	たけ口口	井上老台	新婚の引き渡し		横継紙	1	通
S	6	4			〔封筒〕	24年		9月10日	勝北郡勝加茂村 三宅武二郎	井上信三			封筒	1	枚
S	7	1			〔井上宛隠居書状〕	未詳		6月10日	隠居	井上	明日他行につき	虫損	横切紙	1	通
S	7	2			口上	未詳		旧正月27日	宝寿山隠居	井上信三	亮三方の近況うかがい		横継紙	1	通
S	7	3			口上	未詳		旧5月10日	執行預所 月州	井上	冬夏法衣類の入用につき		罫紙	1	通
S	7	4			記	未詳		10月9日	観龍寺	井上	瓢米の拝借につき		小切紙	1	通
S	7	5			〔井上宛吉田常次郎書状〕	未詳		10月23日	観龍寺にて吉田常次郎	井上	松葉御入用につき		小切紙	1	通
S	7	6			口上	未詳		8月23日	観音院	井上	御恵与のお礼	虫損	横継紙	1	通
S	7	7			〔断簡〕	未詳		未詳	不明	不明	口上	後欠	断簡	1	通
S	7	8			〔断簡一括〕	未詳		旧11月	(高橋瓢か)	井上		罫紙	断簡一括	1	点
S	8	0			〔封筒〕	未詳		2月5日	高橋瓢	井上信三			封筒	1	枚
S	8	1			〔井上信三宛高橋瓢書状〕	未詳		2月5日	高橋瓢	井上信三	茶入の件	罫紙	小切紙	1	枚
S	8	2			〔井上信藏宛高橋重信書状〕	未詳		12月27日	高橋重信	井上信藏	掛物の件	桐が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	8	3			口上	未詳		8月24日	高橋	井上御隠居	買請品の代価につき		罫紙	1	通

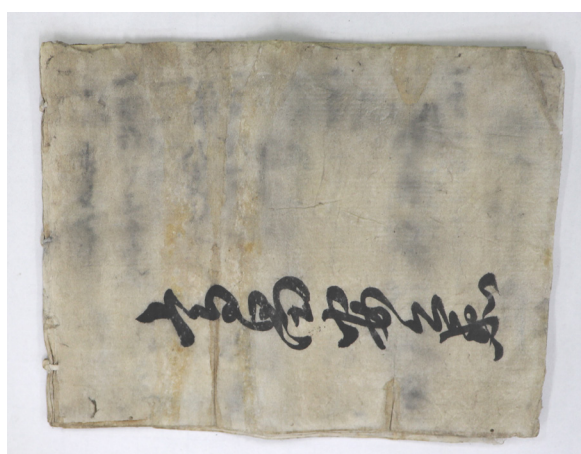
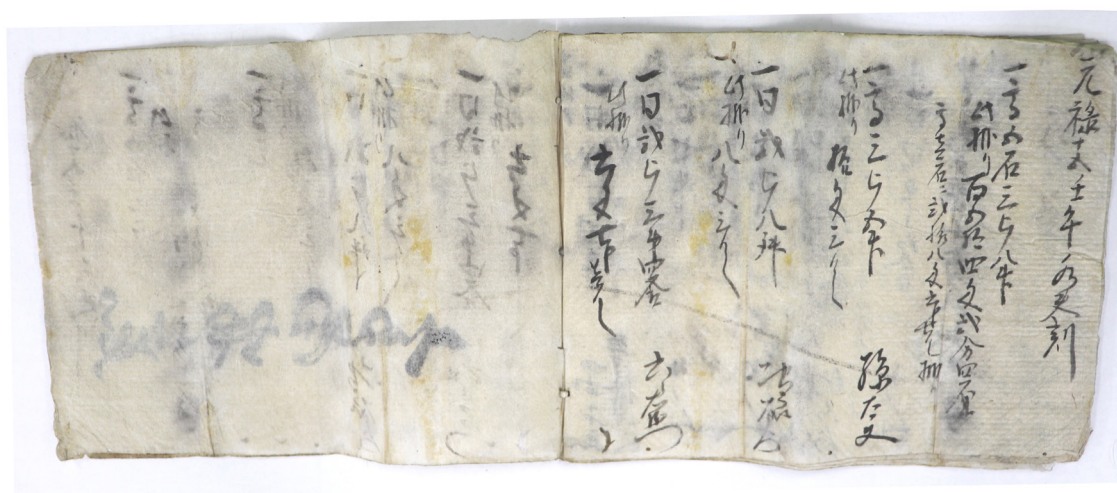
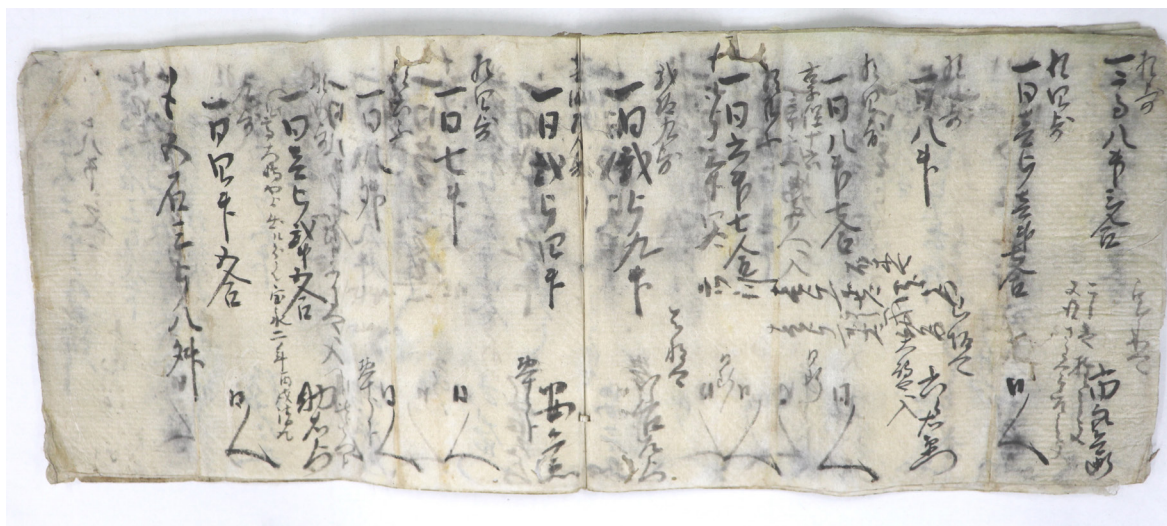
番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
S	8	4			口上	未詳		7月12日	高橋	竹林亭	支払い延引のわび		罫紙	1	通
S	8	5			(井上隠居宛日新堂書状)	未詳		10月12日	日新堂	井上隠居	鯨呈上につき	虫損	罫紙	1	通
S	8	6			(井上宛高橋書状)	未詳		2月3日	高橋	井上	祝儀の品呈上につき	虫損	横継紙	1	通
S	8	7			(井上宛高橋由信書状)	未詳		6月28日	高橋由信	井上	赤飯呈上につき	虫損	小切紙	1	通
S	8	8			(井上宛高橋書状)	未詳		19日	高橋	井上	軸の件		罫紙	1	通
S	8	9			口上	未詳		6月20日	高橋	井上	呈上品につき		小切紙	1	通
S	8	10			(井上信三宛高橋驥書状)	未詳		2月5日	高橋驥	井上信三	亮三様帰宅につき		横継紙	1	通
S	9	1	1		(井上信三・冬太郎宛大橋平右衛門書状)	未詳		3月29日	大橋平右衛門	井上信三・冬太郎	節句の誘い	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	9	1	2		(井上亮三宛大橋百蔵書状)	未詳		6月6日	大橋百蔵	井上亮三	鯛1尾呈上につき		横継紙	1	通
S	9	1	3		(城直右衛門宛大橋平右衛門書状)	未詳		3月6日	大橋平右衛門	城直右衛門	線女につき	糊が外れて3枚になっている	横継紙	1	通
S	9	1	4	1	(井上信蔵宛城直右衛門書状)	未詳		26日	城直右衛門	井上信蔵	見舞いのお礼、摺西郡赤御病蔓延の件	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	9	1	4	2	(書状断簡)	未詳		未詳	不明	不明	芳翰拝讀、ほか	後欠	小切紙	1	通
S	9	1	5		(書状断簡)	未詳		10月5日	不明	不明	人足の人数につき		横継紙	1	通
S	9	2			(断簡)	未詳		未詳	不明	不明	「高」様		断簡一括	1	点
S	10	0			(封筒)	未詳			真殿健次郎	山路音三郎	岡山市紺屋町真殿→倉子城本町ニテ		封筒	1	点
S	10	1			[井上信造宛橋本与平書状]	未詳		4月11日	橋本与平	井上信蔵	送簡の依頼ほか	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	10	2			[井上信造・亮三宛真殿健次郎・和三郎書状]	未詳		正月5日	真殿健次郎・和三郎	井上信造・亮三	年始の御祝儀呈上につき		横折紙	1	通
S	10	3			(井上信造宛真殿健次郎書状)	未詳		3月5日	真殿健次郎	井上蔵台	亡父母の法要につき	糊が外れて3枚になっている	横継紙	2	通
S	10	4			(井上信造宛真殿健次郎書状)	未詳		3月18日	真殿健次郎	井上信蔵	菓子のお礼	糊が外れて3枚になっている	横継紙	1	通
S	10	5			(書状追伸)	未詳		未詳	不明	不明	二伸		小切紙	1	通
S	10	6			(山路音三郎宛書状)	未詳		12月10日		山路音三郎	御刀七腰の鑑定の件など	虫損	横継紙	1	通
S	10	7			(山路音三郎宛真殿健次郎書状)	未詳		12月10日	(真殿) 健次郎	山路音三郎	刀の代面につき		横継紙	1	通
S	10	8			(井上信造・尾崎生三宛真殿健次郎・和三郎書状)	未詳		12月23日	真殿健次郎・和三郎	井上信造・尾崎生三	御意中御見舞いにつき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通
S	11	1			(封筒)	未詳		未詳	町長 小山慎平	井上信蔵			封筒	1	枚
S	11	2			(井上亮三宛福島口平書状)	未詳		未詳	福島口平	井上亮三	催合講の御通につき		小切紙	1	通
S	11	3			(井上亮三宛福島口平書状)	未詳		11月26日	福島口平	井上	通の受取につき		小切紙	1	通
S	11	4			(書状断簡)	未詳		7月1日	不明	不明	宮道修繕につき		小切紙	1	通
S	11	5			(井上信蔵宛小山慎平書状)	未詳		5月30日	町長 小山慎平	井上信蔵	郡役所へ申達した書面につき	糊が外れて2枚になっている	横継紙	1	通

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
S	11		6		死後相続人之儀二付御願	明治26年		4月25日	井上信蔵（印）	窪屋郡長 松山清心	井上信蔵死後相続につき		罫紙	1	通
S	12				（書状断簡）						6月17日分と1月15日浅野助太郎→井上信蔵・冬太郎分		断簡	2	枚
Z	1				〔井上宛林源十郎書状〕	未詳		10月5日	林源十郎	井上	尾道の人につき		横継紙	1	通
Z	2				〔井上信造ほか1人宛高戸郁三ほか1人書状〕	未詳		2月14日	高戸郁三ほか1人	井上信造ほか1人	播州よりお初出入		横継紙	1	通
Z	3				〔井上信造ほか1人宛高戸吉平ほか1人書状〕	未詳		11月8日	高戸吉平ほか1人	井上信造ほか1人	亮三の容態		横継紙	1	通
Z	4				〔井上信蔵宛高戸吉平書状〕	未詳		12月13日	高戸吉平	井上信蔵	本家福四郎のチフス		横切紙	1	通
Z	5				〔井上信蔵宛高戸吉平書状〕	未詳		5月8日	高戸吉平	井上信蔵	小松原慶太郎への用向き		横切紙	1	通
Z	6				〔井上信蔵宛高戸吉平書状〕	未詳		5月12日	高戸吉平	井上信蔵	水沢氏への私道具		横切紙	1	通
Z	7				〔惟承之君宛よし田書状〕	未詳		22日	よし田	惟承之君	三清亭の儀		横切紙	1	通
Z	8				〔井上信蔵宛林孚一書状〕	未詳		2月3日	林孚一	井上信蔵	進物お礼		横継紙	1	通
Z	9				〔井上信蔵宛林孚一書状〕	未詳		4月11日	林孚一	井上信蔵	前神植田よりの品		横切紙	1	通
Z	10				〔井上信蔵宛林孚一書状〕	未詳		4月29日	林孚一	井上信蔵	佐藤邸宅		横継紙	1	通
Z	11				〔井上信蔵宛林孚一書状〕	未詳		1月25日	林孚一	井上信蔵	粗品進呈		横切紙	1	通
Z	12				〔森田宛林孚一書状〕	未詳		10月1日	林孚一	森田	魚進呈		横切紙	1	通
Z	13				〔井上亮三宛植田年書状〕	未詳		3月2日	植田年	井上亮三	高橋講		横切紙	1	通
Z	14				〔井上冬三郎宛会議所書状〕	未詳		2月20日	会議所	井上冬三郎	事務繁忙手伝い		横切紙	1	通
Z	15				〔井上信蔵ほか1人宛植田年書状〕	未詳		10月14日	植田年	井上信蔵ほか1人	酒販進上		横切紙	1	通
Z	17				〔井上宛寅斗書状〕	未詳		10月18日	寅斗	井上			横切紙	1	通
Z	18				〔岡久二宛植田孫太郎書状〕	未詳		1月20日	植田孫太郎	岡久二	吉田講		横切紙	1	通
Z	19				〔井上御姉宛高戸お時書状〕	未詳		2月	高戸お時	井上御姉	着物仕立て		横継紙	1	通
Z	20				〔井上おけい宛高戸口書状〕	未詳		11月14日	高戸口口	井上おけい	生三東京行き		横切紙	1	通
Z	21				〔山路音三郎宛林源十郎書状〕	未詳		2月9日	林源十郎	山路音三郎	酒肴進呈		横継紙	1	通
Z	22				〔井上宛口書状〕	未詳		1月13日			婚礼		横継紙	1	通
Z	23				〔井上叔父ほか1人宛高戸郁三書状〕	未詳		12月13日	高戸郁三	井上叔父ほか1人	法事案内		横継紙	1	通
Z	24				〔母上宛まさ書状〕	未詳		未詳	まさ	母上	仏事		横切紙	1	通
Z	25				〔井上御兄宛片山亀五郎書状〕	未詳		6月16日	片山亀五郎	井上御兄	節句の幟借用		横継紙	1	通
Z	26				〔井上御兄宛片山亀五郎書状〕	未詳		1月12日	片山亀五郎	井上御兄	内祝い進呈		横継紙	1	通
Z	27				〔井上御兄宛片山亀五郎書状〕	未詳		6月16日	片山亀五郎	井上御兄			横切紙	1	通
Z	28				〔井上叔母宛真蔵久口書状〕	未詳		7月28日	真蔵久口	井上叔母			横切紙	1	通
Z	29				〔租税書付〕	明治17～19年							横切紙	1	通
Z	30				記（買い物代）	明治23年		4月	森江英三	井上			横切紙	1	通
Z	31				〔尾崎亀五郎宛秋山姉書状〕	未詳		5月9日	秋山姉	尾崎亀五郎			横継紙	1	通
Z	32				〔母上宛まさ書状〕	未詳		3月23日	まさ	母上	粗品進呈		横切紙	1	通

番号	番号	番号	番号	番号	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
1	2	3	4	5											
Z	33				(井上叔父ほか1人宛高戸郁三書状)	未詳		12月3日	高戸郁三	井上叔父ほか1人	薦屋仏事		横継紙	1	通
Z	34				(井上伯母宛□□書状)	未詳		未詳		井上伯母	生三再縁		横継紙	1	通
Z	35				(いのうえもし宛まどのとし書状)	未詳		未詳	まどのとし	いのうえもし	近況		横継紙	1	通
Z	36				羽島村御年貢請取通	文政2年				宮崎屋五蔵			横切紙	1	通
Z	37				(井上母上宛山路モト書状)	未詳		1月	山路モト	井上母上	お初出入り		横継紙	1	通
Z	38				(井上母上宛山路モト書状)	未詳		1月5日	山路モト	井上母上	祝儀進呈		横継紙	1	通
Z	39				(井上もし宛ほり辰書状)	未詳		3月	ほり辰	井上もし	歳暮の礼		横切紙	1	通
Z	40				(御室御所執達中宛玉泉寺書状)	未詳		9月15日	玉泉寺	御室御所執達中	扇子料献上		横切紙	1	通
Z	41				(書状)	未詳		未詳					横継紙	1	通
Z	42				(亮三宛真殿□□書状)	未詳		12月12日	真殿□□	亮三	旧主戸川家名跡永春講		横継紙	1	通
Z	43				(倉敷年寄三左衛門宛沖村庄屋周助書状)	未詳	戌	7月13日	沖村庄屋周助	倉敷年寄三左衛門	三次郎・多吉一件内済		横切紙	1	通
Z	44				(倉敷年寄三左衛門宛宿名主彦七書状)	未詳		閏1月14日	宿名主彦七	倉敷年寄三左衛門	当村儀平取替銀一件		横切紙	1	通
Z	45				差入申証文之事	未詳		未詳	井上信三	片山新吉	500両借用		横継紙	1	通
Z	46				(井上冬太郎宛尾崎生三書状)	未詳		4日	尾崎生三	井上冬太郎	悔み状		横切紙	1	通
Z	47				(藤井十之丞宛内藤忠右衛門書状)	未詳		10月1日	内藤忠右衛門	藤井十之丞	借用銀		横継紙	1	通
Z	48				(姉上宛□□書状)	未詳		未詳		姉上	亮三初盆		横継紙	1	通
Z	49				(井上母上宛山路モト書状)	未詳		8月	山路モト	井上母上	御向人様御初出入り		横継紙	1	通
Z	50				(書状)	未詳		未詳			上京療養		横切紙	1	通
Z	52				(書状)	未詳		未詳	不明		初出入り		横切紙	1	通
Z	53				(経典)	未詳		未詳				木版	折本	1	冊
Z	54				(植田春園年賀状)	未詳			倉敷 植田春園	不明	雪埋松の和歌、「青林井上夫人」という書き込みあり		印刷	1	通
Z	55				吉日ひかる	未詳			福山 芝辻里重			木版		1	冊
Z	56				岡山県下画事講習会報告	明治17年		11月				裏表紙外れ	印刷	1	冊
Z	57				讃岐金毘羅宮保存会規則	未詳							印刷	1	冊
Z	58				玉泉寺什物改								横半帳	1	冊
Z	59				金鶏山玉泉寺 諸事勘定帳	文久2年							横半帳	1	冊
Z	60				甲子六月 私帳		甲子	6月					横半帳	1	冊
Z	61				私記	未詳			息災護摩口訣など				縦帳	1	冊
Z	62				玉泉寺書物目録								縦帳	1	冊
Z	63				簗簗指南抄 全	未詳			吉日の書上など				縦帳	1	冊
Z	64				(法華玄談)	未詳					写本		縦帳	1	冊
Z	65				勝宗十句義論	寛政12年		8月			写本		縦帳	1	冊
Z	66				与尽抄						写本	端書「空恵」	縦帳	1	冊
Z	67				羯磨文略鈔						写本	野中寺の印あり	縦帳	1	冊
Z	68				第五回内国勸業博覧会場内実地縮図	明治36年		2月11日	大阪黄雲館		写本	破れあり	印刷	1	枚
Z	69				中等習字臨模帖 三の一	明治44年		11月8日	開成館			破損大	縦帳	1	冊

番号 1	番号 2	番号 3	番号 4	番号 5	表題	年代	干支	月日	作成	宛先	内容	備考	形態	数量	単位
Z	70				自從抄師説	未詳		未詳				破損大	縦帳	1冊	
Z	71				差出申一札之事	寛政7年		8月	川西町半五郎	年寄月番 五蔵	弟虎吉が児島郡福田新田定兵衛養子入につき	破損、フケ	縦紙	1通	
Z	72				出雲大社井阿国造館之図	明治33年		10月30日	吉川健五郎			包紙あり	木版	1枚	
Z	73				修業証	明治26年		3月25日	高等精思小学校	井上とめ	第二学年課程修業		印刷	1通	
Z	74				修業証	明治20年		3月24日	倉敷小学校	井上とめ	第四学年課程修業		印刷	1通	
Z	75				修業証	明治22年		3月21日	倉敷小学校	井上とめ	第三学年課程修業		印刷	1通	
Z	76				修業証	明治20年		3月25日	尋常倉敷小学校	井上とめ	第二学年課程修業		印刷	1通	
Z	77				進級試験優等につき賞状	明治18年		12月14日	倉敷小学校	井上とめ	三つ折り2帖賞与		印刷	1通	
Z	78				卒業証	明治19年		5月20日	倉敷小学校	井上とめ	第五級卒業		印刷	1通	
Z	79				卒業証	明治18年		12月5日	倉敷小学校	井上とめ	第六級卒業		印刷	1通	
Z	80				(帳面断簡)	未詳		未詳			3月分集金など書上		横折紙	1通	
Z	81				(伏見入道御男豊宮御方相統告知書上)	申		2月	橋本民部ほか		写		横帳	1冊	
Z	82				玉泉寺真恵 遺物記録并遺囑記	未詳		未詳			諸寺院へ遺品分け		横帳	1冊	
Z	83				氏神石櫃修復金受取通	辛未		3月	西東世話方	三島常七郎		破損あり	横帳	1冊	
Z	84				悉曇十二通切紙大事	明和3年		5月	玉泉		有井村大日庵にて謄写、原本は元龜2年		和綴	1冊	
Z	85				岡山県職員録							表紙破損	印刷	1冊	
Z	86				(矢掛中学校同窓会会員名簿)	大正13年					会計収支、議決事項、名簿など	表紙破損	印刷	1冊	
Z	87				(断簡一括)						心算書類入包紙など		断簡一括	1点	
Z	88				版木	未詳					「平安風流煎茶器」、「辨酌」(16.2*7.2)、「あわもり」(16.2*7.2)、「刻たはこ品々」(14.2*16.2)ほか			12点	





西日本豪雨災害による被災資料の整理作業報告書 一倉敷 井上家文書一

2024 年 3 月 25 日発行

編著 岡山大学文明動態学研究所 非常勤研究員 山下香織

発行 岡山大学文明動態学研究所

〒 700-8530 岡山市北区津島中 3 - 1 - 1
